

FINESPEC 2.4G



タミヤRCシステム ファインスペック2.4G 4チャンネルRCプロボセット (TTU-11・TRU-11)

本製品はタミヤ製1/16RCタンク・1/14RCトレーラー・1/10RCピックアップトラック及びそれらをコントロールするDMD / MFCユニットを操作するのに最適化された4チャンネルプロボセットです。10個のファンクションボタンを装備しており、複雑な特殊操作を手軽に実現することができます。またファンクションボタンの設定もRCモデル別にプリセットを用意してあり簡単に行えます。サブトリム、エンドポイント、チャンネルリバース、チャンネルスワップなどの設定機能を持ち、RCモデルに合わせた調整が可能です。15台分のモデルメモリーを持ち、複数のRCモデルの設定を保存・管理ができます。バックライト付き液晶を採用し、各種設定・操作状況の確認が行いやすい画面構成となっています。

●本取扱説明書は、ファインスペック2.4G 4チャンネルRCプロボセット用(送信機:TTU-11, 受信機:TRU-11)です。お買い上げの製品の仕様によって、接続する電子機器(ユニット)が異なります。お買い上げのセット内容をよく理解して、設定や操作の前に本書を必ずお読みください。また、本書は大切に保管し、必要な時に読んでください。



●送信機 (TTU-11)

●受信機 (TRU-11)

●シフトゲートB2 (シフトチェンジ用)



- 両面テープ (白)
- スポンジテープ
- 取扱説明書
- 画面マップ (ファンクションボタン設定可能操作一覧表)
- 製品保証書

※製品の仕様によって、DMDユニット・MFユニット・MFCユニット・サーボ(砲身上下用 / リコイル用 / ステアリング用 / ミッション用 / サポートレッグ用など)・サーボ延長コード・その他ユニットが別途必要です。RCモデル側の説明書に従って準備してください。

※RCタンク用のMFユニットは、RCトレーラーおよびRCピックアップトラック用のMFCユニットと表記が類似しているため、便宜的にDMDユニットだけの表記となっています。また本取扱説明書では、製品ごとに複数の組合せがあるMFユニットとDMDユニットの説明はしていません。

簡易目次

- 目次.....P.2
- はじめに/注意事項.....P.3
- 送信機・受信機の基本情報.....P.4~
- 操作説明.....P.7~
- 初期設定(はじめに行う設定).....P.13~
- 液晶画面.....P.17~
- ファンクションボタンの割り当て.....P.26

- 補足事項.....P.27
- Q&A(トラブルシューティング).....P.28~
- セッティングシート.....P.31
- 索引.....P.32
- 画面マップ.....別紙①
- ファンクションボタン設定可能操作一覧表.....別紙①
- 製品保証書.....別紙②

| | | | |
|--------------------------------|-----------------|-------------------------------|-----------------|
| ●表紙 |P.1 | ●液晶画面 |P.17~ |
| ●目次 |P.2 | 画面切替えの操作例 |P.17, P.18 |
| ●はじめに |P.3 | 液晶画面の表示 |P.19 |
| ●注意事項 |P.3 | 起動画面 |P.19 |
| 使用上の注意 |P.3 | メイン画面 (0A) |P.19 |
| 2.4GHzプロポシステム上の注意 |P.3 | メニュー画面 (A1B) |P.19 |
| ●送信機・受信機の基本情報 |P.4~ | セッティング1画面 (B2C) |P.19 |
| 送信機 (TTU-11)・受信機 (TRU-11) の特徴 |P.4 | ファンクションボタン設定 (C3H) |P.20 |
| 送信機 (TTU-11) の各部名称と機能 |P.4 | ユニットタイプ設定 (H4Q) |P.20 |
| 送信機 (TTU-11) 液晶画面の各部名称と機能 |P.5 | ファンクションボタン個別設定 (H4Q) |P.20 |
| 送信機 (TTU-11) の出荷時設定 |P.5 | チャンネルリバース設定 (C3I) |P.20 |
| 送信機 (TTU-11) スティックの長さ調整とシフトゲート |P.6 | サブトリム設定 (C3J) |P.21 |
| 受信機 (TRU-11) の各部名称と機能 |P.6, P.7 | サブトリム値の設定 (J4R) |P.21 |
| 受信機 (TRU-11) の出荷時設定 |P.7 | エンドポイント設定 (C3K) |P.21 |
| ●操作説明 |P.7~ | エンドポイント値の設定 L/U (K4S) |P.22 |
| 操作をはじめる前に |P.7 | エンドポイント値の設定 R/D (S5W) |P.22 |
| DMDユニットおよびMFCユニットの分類 |P.8 | チャンネルスワップ設定 (C3L) |P.22 |
| 走行の手順 |P.8 | 設定初期化 (C3M) |P.23 |
| RCモデルを走らせる時の注意 |P.8 | セッティング2画面 (B2D) |P.23 |
| RCモデルを保管する時の注意 |P.8 | コントラスト設定 (D3N) |P.23 |
| 送信機への電池の入れ方 |P.9 | バックライト明るさ設定 (D3N) |P.23 |
| スイッチの入れ方、切り方 |P.10 | バックライト点灯時間設定 (D3N) |P.23 |
| 基本操作 |P.10 | ペアリング設定 (B2E) |P.23, P.24 |
| トリム |P.10, P.11 | モデルメモリー選択 (B2F) |P.24 |
| 基本操作 (RCトレーラー/RCピックアップトラック) |P.11 | モデルメモリー設定 (F3P) |P.25 |
| 基本操作 (RCタンク) |P.12 | モデルネームの入力 (P4T) |P.25 |
| 液晶画面の基本操作 |P.13 | モデルメモリーのコピー (P4U) |P.25 |
| ●初期設定 (はじめに行う設定) |P.13~ | モデルメモリーの削除 (P4V) |P.25 |
| ファンクションボタンの初期設定方法 |P.13 | 電波認証表示画面 (B2G) |P.26 |
| ファンクションボタンの設定画面への切替え |P.13 | ●ファンクションボタンの割り当て |P.26 |
| ファンクションボタンの設定画面 |P.13 | ファンクションボタン設定可能操作一覧表 (別紙①) の見方 |P.26 |
| ユニットタイプのプリセット設定方法 |P.14~ | ファンクションボタンの割り当て方法 |P.26 |
| TANK A |P.14 | ●補足事項 |P.27 |
| TANK B |P.14 | RCタンクの例外 |P.27 |
| MFC-01 |P.14 | RCトレーラー・RCピックアップトラックの補足 |P.27 |
| MFC-02 |P.15 | 全般的な補足説明 |P.27 |
| MFC-03 |P.15 | ●Q & A (トラブルシューティング) |P.28~P.30 |
| TANK X |P.15 | ●セッティングシート |P.31 |
| MFC-X |P.15 | ●索引 |P.32 |
| ファンクションボタンの補足 |P.15 | ●製品スペック |P.32 |
| ファンクションボタンのプリセット一覧 |P.16 | ●タミヤ・カスタマーサービス |P.32 |
| ●画面マップ |別紙① | ●製品保証書 |別紙② |
| ●ファンクションボタン設定可能操作一覧表 |別紙① | | |

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。RCモデルの組み立てやプロポ（送信機と受信機）の設定の前には、必ず取扱説明書や組立説明図をよく読み、内容を理解した上でご使用ください。

⚠ 使用上の注意

- 安全に楽しく使用し、使用者や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、下記の注意点を必ず守ってください。取扱説明書中のマーク（⚠）は重要な注意事項です。必ず注意事項に従ってください。
- 本製品は、TTU-11（送信機）とTRU-11（受信機）の組み合わせで使用します。TTU-11（送信機）とTRU-09（受信機）、TTU-09（送信機）とTRU-11（受信機）の組み合わせでは使用できません。
- タミヤ製のDMDユニットまたはMFCユニットを使用する場合は、タミヤ製のサーボをご使用ください。標準型サーボ（サーボ電流1A）に限ります。
- 他社製のサーボやマルチファンクションユニットは使えません。動作の保証ができませんので、使用しないでください。
- 受信機（TRU-11）にはBEC回路（動力用電源から受信機やサーボ用に適した電圧に変換する回路）がありません。タミヤ製のDMDユニットおよびMFCユニットにはBEC回路（6V）が内蔵されています。またESC（スピードコントローラー）を使用する場合は、必ずBEC回路付のESCをご使用ください。BEC回路のないESCを使用すると、受信機に接続するサーボ等が破損する場合があります。タミヤ製ESCのTEU-101BKおよびTEU-104BKにはBEC回路はありませんので、使用できません（2024年現在）。
- 本製品は電動RCカー以外に使用しないでください。
- 空用、水上用、水中用RCモデルには使用しないでください。
- 水濡れ、落下、強い衝撃は故障の原因となりますので注意してください。
- 本製品は日本専用です。海外に持ち出すことはできません。使用する際は現地の法律に基づく認可が必要です。また海外で模型以外の用途で使用する際は、輸出入貿易管理法で規制される場合があります。輸出許可申請等の法的手続きが必要です。



- 使用する前に保護者の方と一緒に説明書をよく読んでください。

- わからないところは、保護者の方やRCに詳しい人に教えてもらおう。



- プロポセットの分解、改造は絶対にしないでください。

- 小さな子供のいる場所での操作はしないでください。



⚠ 2.4GHzプロポシステム上の注意

- 本2.4GHzプロポシステムは、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マークを液晶画面に表示できます。表示の方法は取扱説明書P.19、P.26を参照してください。電波認証表示画面【DEVICE INFORMATION】にて表示されます。

形式：TTU-11

番号：R 007-AM0215

2.4GHzプロポシステムを安全にご利用いただくための基本的な注意事項

- ご使用の際は、製品の取扱説明書や注意書きをよくお読みください。
- 当プロポシステムは地上用の模型電動RCカー（RCトレーラーやRCピックアップトラックを含む）およびRCタンク専用です。エンジンRCカーや空用、水上用、水中用RCモデルには使用できません。
- 2.4GHz周波数帯はRC（ラジオコントロール）専用の周波数帯ではありません。この周波数帯は電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信に利用されるISM（産業・科学・医療）バンドと共用しているため、都市部では2.4GHzプロポシステムの操縦レスポンスが低下する可能性があります。また、アマチュア無線、移動体識別用構内無線にも使われているため、これらの影響に注意して使用してください。なお、既設の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の送信を停止し、干渉回避対策（場所の移動等）を行ってください。
- 走行場所では、送信機や受信機に影響を与える可能性のある機器の使用は最小限にし、事前に安全性を確認してください。また、サーキットなどでは施設の管理者の指示に従ってください。
- 同一走行場所でも、電波の混信がある場合には、同時に使用する2.4GHzプロポの台数を制限してください。同時に使用する2.4GHzのプロポの台数がわかるように施設のボード等を利用してください。
- 建物や鉄塔、樹木の後ろなど、電波の到達を遮る走行をすると、操縦レスポンスが低下したり操縦不能になる場合があります。送信機とRCモデルの間に障害物がないように、常に目で確認できる範囲で走行してください。
- 日本国内では、電波法に基づく技術基準適合証明試験を受け、認証番号を取得した製品しか使用できません。
- 海外からの輸入品等、認証ラベルが貼られていないプロポセット（送信機と受信機）の使用は電波法違反となります。

2.4GHz送信機操作時の注意

- 送信機のアンテナには構造上、電波の弱い方向があります。P.4を参照して注意してください。
- 走行中は送信機のアンテナ部（アンテナ本体は内蔵されています）を握らないでください。また送信機のアンテナ部には導電性のある板やステッカーなどを貼らないでください。電波の出力が弱くなるため、送受信距離（電波の飛距離）が短くなり危険です。
- 他の2.4GHzプロポシステム等からのノイズの影響により電波が届かなくなる場合があります。使用前の動作テストや使用中に、操作ができなくなった場合は使用を中止してください。

2.4GHz受信機搭載時の注意

- 車体の振動が大きい場所、電気ノイズや機械ノイズが多い場所には搭載しないでください。
- 強い衝撃や振動を与えないでください。厚手の両面テープなどを使用し、振動が直接伝わらないように防振対策を行ってください。

送信機 (TTU-11)・受信機 (TRU-11) の特徴

- ◆4チャンネル(ch)の操作
- ◆タミヤ製の各種DMDユニットや各種MFCユニットに最適
- ◆10個のファンクションボタンで様々な操作がワンタッチで可能
- ◆15台分のモデルメモリーを搭載
- ◆操作状況が分かりやすい液晶画面
- ◆以下各種設定が可能
 - ・ファンクションボタン設定
 - ・チャンネルリバース設定
 - ・サブトリム設定
 - ・エンドポイント設定
 - ・チャンネルスワップ設定
 - ・設定初期化機能

- ・プザーON/OFF設定
- ・コントラスト設定
- ・バックライト明るさ設定
- ・バックライト点灯時間設定
- ・ファンクションボタンを押した時のバックライト点灯設定

※製品は工場出荷(設定初期化)状態では、ファンクションボタンは未設定です。ファンクションボタンを押しても作動しませんので、必ず使用するユニットタイプの設定を行ってください。DMDユニットやMFCユニットのユニットタイプごとにプリセットが用意されています。はじめにその設定を行うとファンクションボタンの設定が簡単になります。

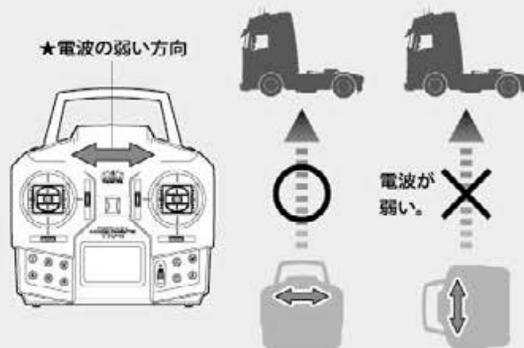
送信機 (TTU-11) の各部名称と機能

RCモデルのコントローラーです。RCモデルの向きを変えたり、スピードをコントロールしたり、スティックの操作を信号に変えて発信します。ファンクションボタンを備え、DMDユニットやMFCユニット特有の様々な操作を簡単にできます。



①内蔵アンテナ

アンテナが内蔵されています。下図の電波の弱い方向がRCモデルに向かないような状態で操作してください。送信機の上部をRCモデルの方向に向けると電波が最大となります。



②左スティック

受信機の2chと4chに接続されたサーボやESC、DMDやMFCを操作。
上下: 2ch
左右: 4ch

③右スティック

受信機の1chと3chに接続されたサーボ、DMDやMFCを操作。
上下: 3ch
左右: 1ch

④スティックエンド

1.5mm六角レンチ(別売)を使用して、高さの調節が可能(P.6参照)。

⑤ストラップ用ホルダー

落下防止のためのストラップなどを固定できます。

⑥セットボタン

OKボタン: 選択、決定
Cボタン: キャンセル/リターン(戻る)
上ボタン(▲): 上に移動
下ボタン(▼): 下に移動

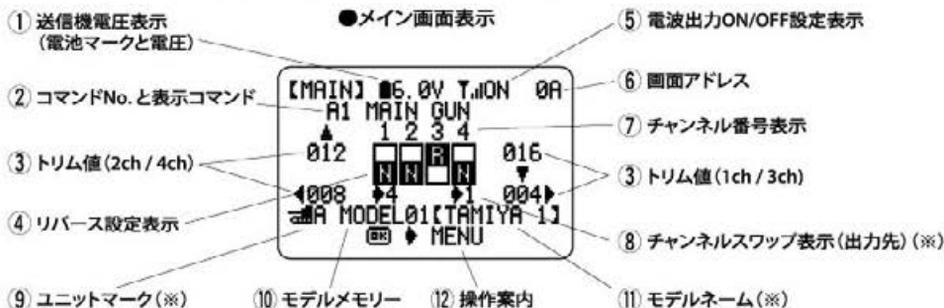
⑦電源LED

| | |
|---------|-------------------------------|
| 緑点灯 | 正常です |
| オレンジ点灯 | 送信機用電池が減っています |
| 赤点灯 | 送信機用電池の交換をおすすめします |
| 赤点滅 | 操作を停止して送信機用電池を交換してください(警告音発生) |
| 赤・緑交互点灯 | ペアリング設定中 |

送信機 (TTU-11) 液晶画面の各部名称と機能

送信機の設定情報や送信機操作時の情報を表示します。

メイン画面の表示内容例です(※出荷時設定では表示されないものもあります)。



●メイン画面

メイン画面には、使用中の設定や操作の内容が表示されます。モデルメモリーを変更すると、変更した設定の保存内容が表示されます。出荷時には設定されていないので表示されない項目があります。

①送信機電圧表示

送信機用の電池の電圧を表示します。電池の残量が少なくなると電源LEDの点灯色と点灯方法・電池マーク・電圧表示が変化します。さらに電池の残量が少なくなると電源LEDが赤点滅すると同時にブザー音が鳴ります。電源LEDが赤点滅になった状態を放置すると、異音の発生や液晶画面が消えるなどします。

②コマンドNo.と表示コマンド

ファンクションボタンを押すと、設定されたコマンドNo.と表示コマンドが表示されます。表示は自動的に消えます。

③トリム値

1chトリム～4chトリムの値を数字で表示します。基準値は[0]、[4]刻みで[100]が最大値です。DMDユニットおよびMFCユニットの特殊操作には[100]の入力が必要です。数字の上下または左右に矢印(▲▼◀▶)を表示します。矢印はニュートラルを基準として操作の向きに準じます。

④リバース設定表示

受信機の各チャンネルから出力される信号(操作)を反転できます。
 [R]:リバース(反転状態)
 [N]:ノーマル(通常状態)

⑤電波出力ON/OFF設定表示

[ON]で電波出力、[OFF]では電波が出力していないことを表します。メニュー画面でONとOFFを切り替えます。送信機電源をOFFにすると、[ON]状態に戻ります。

⑥画面アドレス

操作画面のアドレスです。画面マップを参照し、どの階層で作業をしているか判断できます。

⑦チャンネル番号表示

受信機のチャンネル番号を示し、変化しません。リバース設定とチャンネルスワップ設定のチャンネル番号を示します。

⑧チャンネルスワップ表示(出力先)(※)

チャンネルスワップ設定で出力先が変更されたチャンネルを表示します。

⑨ユニットマーク(※)

設定中のユニットタイプをマークとして表示します。

⑩モデルメモリー

使用中のモデルメモリーの番号を表示します。

⑪モデルネーム(※)

使用中のモデルメモリーで登録した名称を表示します。

⑫操作案内

セットボタンを押した時の処理の一部を表示します。上図ではOKボタンを押すとメニュー画面(A18)に切替わることを示します。

送信機 (TTU-11) の出荷時設定

送信機の出荷時の各種設定は以下の通りです。設定初期化(P.23)をすると全ての設定情報はリセットされて、この状態に戻ります。

○トリム値(P.10)

すべてのチャンネルが[0]です。

○SETTING1

●ファンクションボタン設定(P.20)
FREE SELECTの状態ではボタンは未設定です。

●チャンネルリバース設定(P.20)

すべてのチャンネルが[NORMAL(ノーマル)]です。

●サブトリム設定(P.21)

1ch～4ch全てが[0]です。

●エンドポイント設定(P.21、P.22)

1ch～4ch全てが[100]です。

●チャンネルスワップ設定(P.22)

未設定の状態です。メイン画面には表示されません。

○SETTING2

●ブザー設定(P.23)

[ON]。ブザーが鳴ります。

●バックライト明るさ設定(P.23)

[5/10]の明るさ。

●ファンクションボタンを押した時のバックライト点灯設定(P.23)

[ON]。ファンクションボタンを押した時にバックライトが点灯します。

○ベアリング設定(P.23、P.24)

送信機を設定初期化してもベアリングは外れません。出荷時はベアリングされた状態です。

○モデルメモリー(P.24、P.25)

MODEL01[]: MODEL01を使用している状態です。
※設定初期化を行うと、全てのモデルメモリー、モデルネームは消去されます。

○電波出力ON/OFF設定(P.19 RF ON/OFF)

[ON]。電波が出力される状態です。

●コントラスト設定(P.23)

[5/10]のコントラスト。

●バックライト点灯時間設定(P.23)

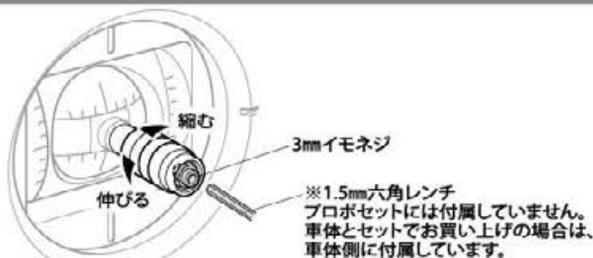
[5 SEC]。バックライトはボタンを操作すると5秒間点灯、その後消灯します。

送信機 (TTU-11) スティックの長さ調整とシフトゲート

《スティックの長さ調整》

●送信機 (TTU-11) の左右スティックは、スティックエンドを好みの高さに調整できます。3mmイモネジを緩めて、お好みの位置にスティックエンドを回して高さを変更してください。調整後に3mmイモネジを締めて固定します。

★シフトゲートに干渉しない範囲で調整してください。



《シフトゲート》

●シフトゲートは的確な操作をするために必要です。取り付けない場合シフトチェンジがうまくできなかつたり、意図しない動作をする場合があります。

●主にRCTレーサーで送信機を使用する際に使用します。必要に応じてスティックエンドに干渉しないように取り付けてください。

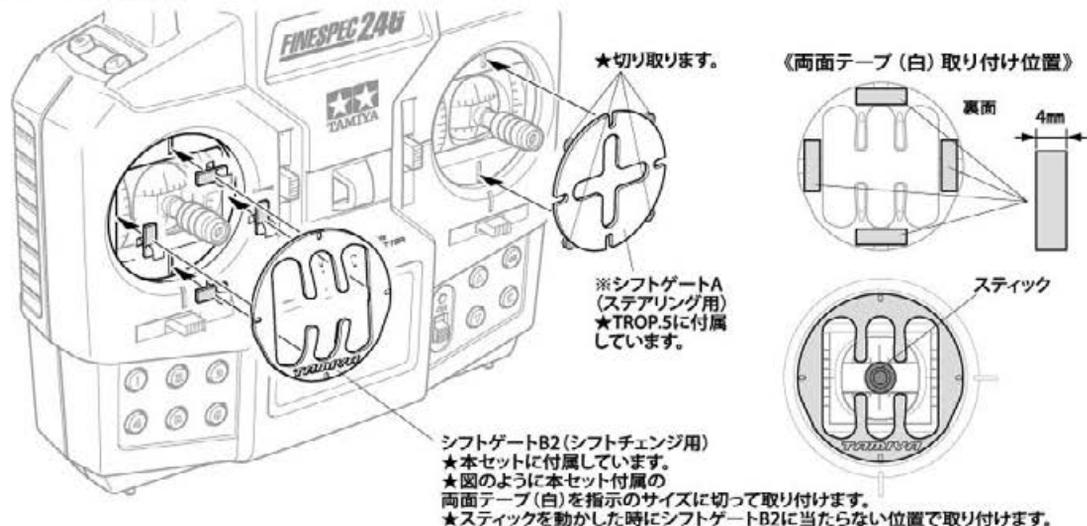
●RCタンクではシフトゲートは取り付けません。

●シフトゲートAはオートサポートレグ用、シフトゲートB2はシフトチェンジ用です。

●シフトゲートAを付けない場合、ステアリング操作中に3chの信号が入力されて、オートサポートレグ (TROP.5) が動いたり、ホーンやハイビームが作動する場合があります。

●シフトゲートB2を付けない場合、スロットル操作中に4chの信号が入力されてシフトチェンジしたり、中途半端なポジション (1速と2速の間または2速と3速の間) での操作となった場合にギヤケース内のクラッチを傷めたりする可能性があります。特にMFC-01の使用時には必ず取り付けてください。

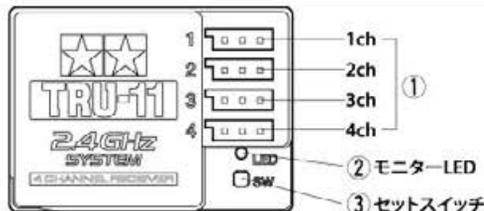
《シフトゲートの取り付け》



受信機 (TRU-11) の各部名称と機能

送信機の電波を受け、パルス信号に変換して、サーボやESC、DMDユニット、MFCユニットへ送ります。

●受信機アンテナ内蔵 (アンテナコード無)



①1ch~4chコネクタ DMDユニットおよびMFCユニットにある各チャンネルの受信機用コネクタを差し込みます。

・1ch~4chの主要動作

1ch DMD:ステアリング (モーター)
MFC:ステアリング (サーボ)
その他:サーボ
2ch DMD:スロットル (モーター)
MFC:スロットル (モーター)
その他:ESC
3ch DMD:砲身上下 (モーター/サーボ)
MFC:ホーン/サポートレグ (サーボ)
その他:サーボ等
4ch DMD:砲塔・砲身旋回 (モーター)
MFC:ミッション (サーボ)
その他:サーボ等

②モニターLED 受信の状態、ベアリング、フェイルセーフの設定状態を点灯・点滅で表示します。

| LED | 受信状態 | ベアリング | フェイルセーフ |
|-----|------|-------|----------|
| 消灯 | 受信無し | | |
| 点灯 | 受信中 | 設定完了 | |
| 点滅 | | 設定中 | 設定中 (6回) |

③セットスイッチ

ベアリング設定 (P.23、P.24)、フェイルセーフ設定 (P.7) を行います。

●ペアリング設定：送信機と受信機の無線接続をするための設定です。

※出荷時はペアリングがされた状態です。
ペアリングを行う場合はP.23、P.24を参考に行ってください。



★ペアリングをするとフェイルセーフ設定は無効になります。
ペアリング後は必ずフェイルセーフ設定を有効にしてください。

●フェイルセーフ設定：RCモデルの暴走を防ぐための設定です。

※出荷時はフェイルセーフ設定は無効の状態です。

この設定は受信機が送信機からの電波を受信できない場合に、安全にRCモデルを停止させることを目的としています。

フェイルセーフ設定を有効にする時はRCモデルが確実に静止状態であることを確認してから行ってください。受信機はフェイルセーフ設定を有効にした時点の信号を記録し、電波を受信できない場合に記録した信号をRCモデルに対して出力します。モーターが回転している状態でフェイルセーフを有効にしてしまうと電波を受信できない場合に暴走状態となり危険です。

※受信機は正常な電波を受信することで通常状態に戻ります。

※フェイルセーフを有効にした後、トリム、サブトリム、リバーズ、エンドポイント等の設定を変更した場合やモデルメモリーを変更した場合は、必ずフェイルセーフ設定を再度行ってください。思わぬ暴走につながる場合があります。

※DMD / MFCユニットやESCは受信機が電波を受信できない場合、安全のため動作を停止します。その際RCモデルにより「エンジン停止動作」となり、電波再受信後の動作復帰に時間がかかる場合があります。フェイルセーフ設定を有効にすることで快適にご使用いただけます。

《フェイルセーフ設定を有効にする方法》

①送信機と受信機の電源をONにした状態で、送信機のスティックから手を放し、RCモデルが静止した(走行用をはじめとする操作できるモーター類が完全に停止し、1ch~4chがニュートラル(中立)になっている)状態であることを確認します。※動いている場合、先にP.10、P.11、P.21を参考にトリムやサブトリムの調整を行ってください。

②受信機のセットスイッチを先の細いレンチなどで押し続けます。

③受信機のモニターLEDが点滅し始めたら、セットスイッチを離します。モニターLEDが6回点滅して、フェイルセーフ設定が有効となり、通常状態に戻ります。

《フェイルセーフ設定を無効にする方法》

フェイルセーフを解除(無効)するには、ペアリング設定を行います。



★フェイルセーフ設定が無効の場合は必ず設定を有効にしてください。

受信機 (TRU-11) の出荷時設定

○ペアリング設定
ペアリングされた状態。

○フェイルセーフ設定
フェイルセーフ無効の状態。



★フェイルセーフ設定を必ず有効にしてください。

操作をはじめる前に

《RCモデルや関連する電子機器の準備》

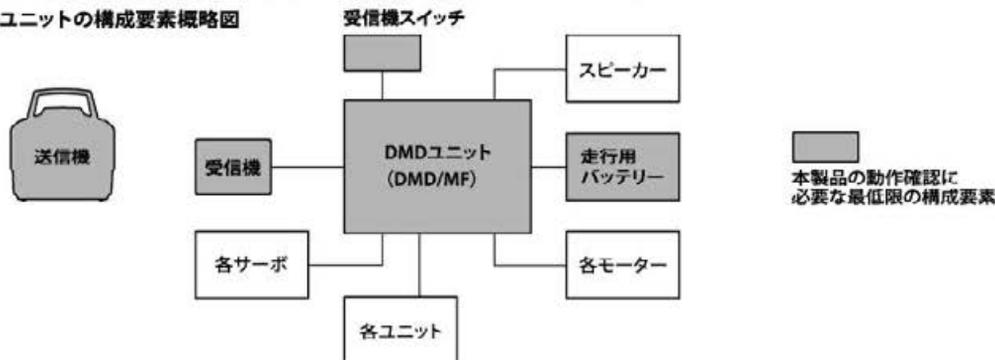
送信機や受信機の操作や設定には、周辺機器の用意が必要です。

使用するRCモデルの組立説明書やオペレーションマニュアル、MFCユニットの取扱説明書を用意し、合わせてお読みください。

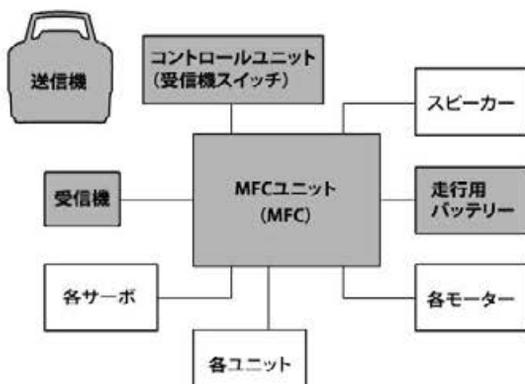
下図はユニットが分割されているものや配線は省略しています。

受信機用電源はDMDユニット / MFCユニット / ESCを通して走行用バッテリーから供給されます。

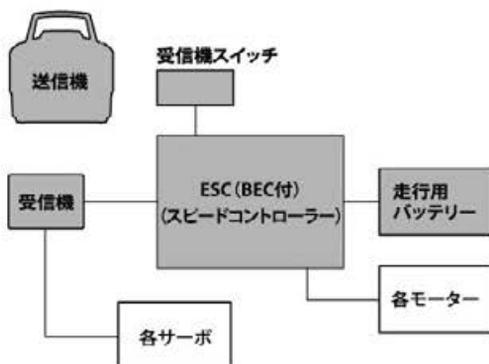
●DMDユニットの構成要素概略図



●MFCユニットの構成要素概略図



●ESC (汎用のスピードコントローラー) 接続時の構成要素概略図



DMDユニットおよびMFCユニットの分類

[ユニットタイプ]に対してRCモデルは下記のように分類します。
 使用するDMDユニットおよびMFCユニット(MFユニット**とは異なる)によって、選択が異なります。
 ※2024年現在のユニットタイプの分類です。
 以降の製品はそれぞれの製品の組立説明図・オペレーションマニュアル・取扱説明書等を参照してください。

| ユニットタイプ | ユニットマーク | 該当するDMD / MFCユニット |
|-------------|---------|--|
| TANK A | | DMD-T09*, DMD-T10*, DMD-T11S*, DMD-T11C* |
| TANK B | | DMD-T03, DMD-T05, DMD-T06, DMD-T07, DMD-T08 |
| MFC-01 | | MFC-01 |
| MFC-02 | | MFC-02 |
| MFC-03 | | MFC-03 |
| TANK X | | (2024年以降に発売される製品の取扱説明書等を参照) |
| MFC-X | | (2024年以降に発売される製品の取扱説明書等を参照) |
| FREE SELECT | (無) | 上記のRCモデルのユニットに関わらず自由に設定できるユニットタイプ (名称の入力およびマークの選択は不可) |

*1: DMD-T09 …… ITEM:56036 10式戦車用のDMDユニット

*2: DMD-T10 …… ITEM:56040 M1A2 エイブラムス用のDMDユニット

*3: DMD-T11S …… ITEM:56042 M551 シェリダンのDMDユニット

*4: DMD-T11C …… ITEM:56044 センチュリオン Mk. III用のDMDユニット

** MFユニット …… RCタンクの多くはDMDユニットとMFユニットを組み合わせています。複数の組み合わせがあるため、DMDユニットの形式を基準に表記しています。
 MFユニット(RCタンク)とMFCユニット(RCトラクター・RCピックアップトラック)は別のユニットです。MFユニット(RCタンク)の細かい組み合わせ等は、本取扱説明書では触れません。RCタンクの説明書を参照してください。

本取扱説明書内ではそれぞれ左に記載された名称で呼びます。

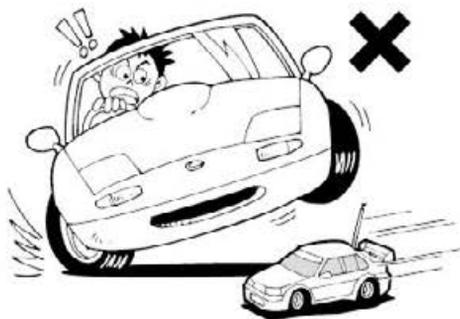
走行の手順

★作業する時はRCモデルを浮かせた状態にしてください。タイヤ等が接地した状態で操作すると、調整がうまくいっていない場合は不意に暴走する可能性があります。下記の手順に従ってください。

- ①送信機用電池(単3形電池、入れ方はP.9参照)、受信機用電源(走行用バッテリー)をセットします。
- ②送信機、受信機の順にそれぞれ電源スイッチを入れます(P.10参照)。
- ③操作スティックを操作し、RCモデル各部の動きを確認します。必要な場合はトリム等で調整してください。
- ④RCモデルを動作させます。
- ⑤動作を終了するときは、受信機、送信機の順でそれぞれの電源スイッチを切ってください(P.10参照)。
- ⑥送信機用電池と走行用バッテリーを外します。

RCモデルを走らせる時の注意

- 混信に注意してください。
2.4GHzシステムは周波数バンドを気にせず走行できますが、周囲の環境によっては影響を受ける、または影響を与える可能性があります。そのような場合は一旦使用を中断して原因を取り除いてください。
- 人混みや小さな子供の近くで走らせないでください。
- 道路では絶対に走らせないでください。
- 受信機は厚手の両面テープなどで振動が直接伝わらないように取り付けてください。
- 配線コードはショートさせない。
コードの被膜がむけてしまった場合は、コードを交換または修理に出してください。
- コネクタのつなぎ方に注意。
コネクタは接続方向が決まっています。つなぎにくい時は無理に押し込まずに向きを確かめてください。向きを間違えて無理に押し込むと受信機やDMDユニット、MFCユニット、ESC、サーボなどを壊します。
- 送信機や受信機には精密電子部品が納められています。内部に水が入ったり、湿気の多いところでは使用しないでください。万が一水が入った時は誤動作したり壊れたりするので、すぐに電源を外して自然乾燥させてください。



RCモデルを保管する時の注意

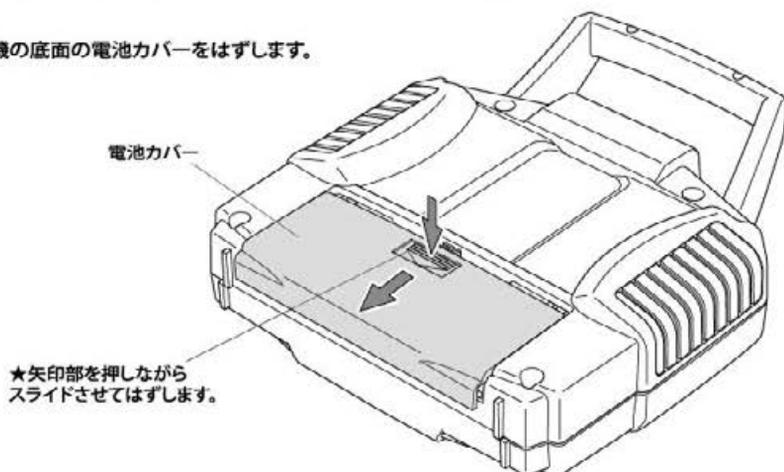
次のような場所には保管しないでください。変形や故障の原因になります。
 ●極端に暑いところ(40℃以上)や寒いところ(-10℃以下)

- 直射日光のあたるところ
- 湿気の多いところ
- 振動の多いところ
- 埃の多いところ

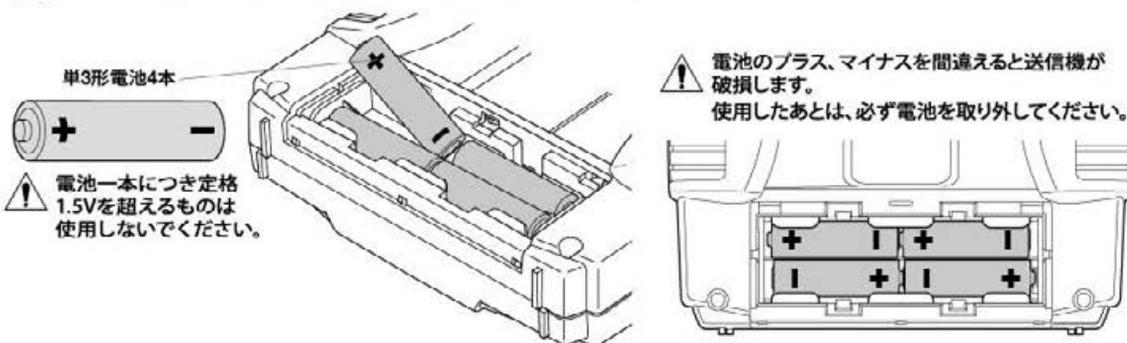
- 蒸気や熱があたるところ
- 小さな子供の手の届くところ
- 酸、アルカリなどの溶液や有機溶剤が付着する恐れがあるところ

- !** 単3形電池(アルカリ電池推奨)を4本用意してください。電池を交換するときは、すべて新しい電池に交換してください。新旧の電池を混ぜて使用すると液漏れや破裂のおそれがあります。また発信する電波が弱くなってコントロールがきかなくなり危険です。

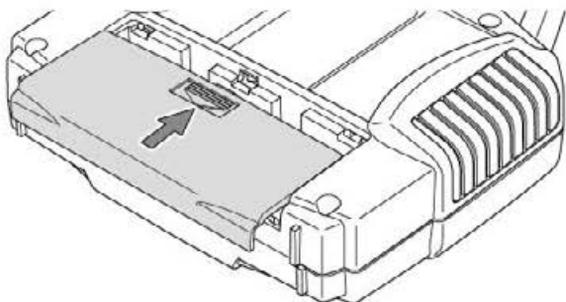
1. 送信機の底面の電池カバーをはずします。



2. 電池ボックス底面に描かれた電池の向きにあわせて電池を入れてください。

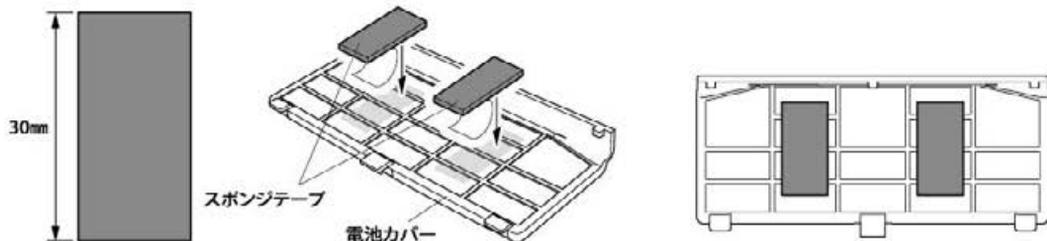


3. 電池カバーを取り付けます。



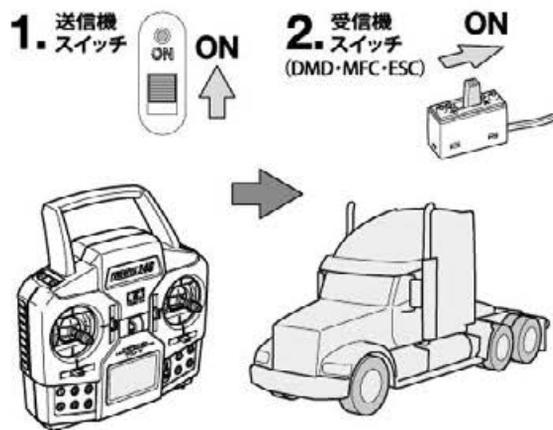
＜送信機の瞬断対策＞

- 送信機(TTU-11)の電源が、衝撃などにより瞬間的にOFFになる場合があります。使用する単3形電池のサイズによっても起きることがあります。起きやすい場合は、セットされているスポンジテープを図のように切り取って、電池カバーの裏側に貼ってください。

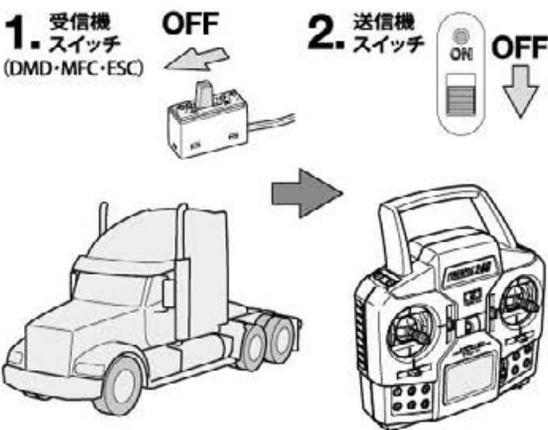


スイッチの入れ方、切り方 ※これだけは守ろう!

《スイッチの入れ方》

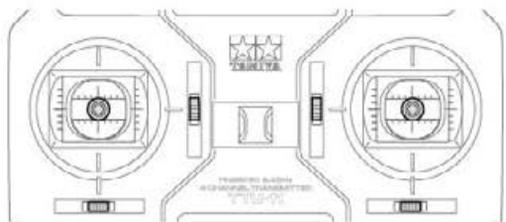


《スイッチの切り方》



基本操作

- スティック操作でRCモデルを前後左右に走行できます。各スティックと対となる各トリムとの組み合わせで多彩なアクションを実現できます。
- RCモデルによって細かい操作方法が異なります。RCモデルのオペレーションマニュアルやMFCユニットの取扱説明書を参照してください。



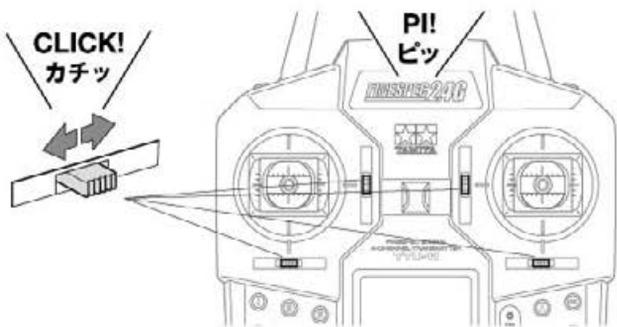
トリム

- トリムレバーでニュートラル調整ができます。ニュートラルとは送信機のスティックが中央にある状態です。この時に受信機から出る信号にプラスまたはマイナスの補正をかけることをニュートラル調整と呼びます。
- DMDユニットやMFCユニットでは特殊操作にも使用できます。

《トリムレバーの操作》

- 本製品はデジタルトリムを採用しています。トリムレバーを左右または上下に動かすとカチッという音や感触と共にトリム値が[4]ずつ変化します。長押しによる連続入力も可能です。
- トリムレバーは操作した時にブザーが鳴ります。トリム値が大きいほど音程が高くなります。通常は短音が、値が[0]になった時または[100]を超えようとした時は長音が鳴ります。

★トリム値は増減してから3秒後に保存されます。トリムレバーを操作してから3秒以内に送信機の電源をOFFにしないでください。トリム値が保存されない場合があります。

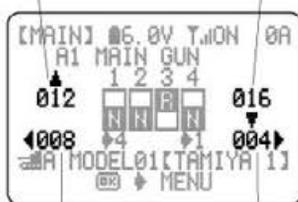


《トリム値の表示》

- 現在のトリム値はメイン画面に表示されます。[0]~[100]の範囲でトリムレバーを動かすたびに[4]ずつ変化します。トリムレバーの操作方向に合わせて矢印も表示されます。チャンネルリバーブ時には出力信号は反転しますが、矢印とトリム値の表示は変わりません。

●液晶画面表示の例

2chトリム値(上に12) 3chトリム値(下に16)

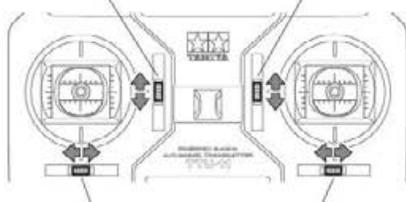


4chトリム値(左に8)

1chトリム値(右に4)

2chトリムレバー

3chトリムレバー



4chトリムレバー

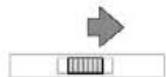
1chトリムレバー

《トリム調整》

●RCモデルが上手く走行しない時にトリムレバーを操作して調整します。
RCモデルの構造や対応ユニットで調整できる場合は、そちらを行ってからトリムを調整してください。
特殊操作(ファンクションボタンを使わない操作)はトリムを動かすため、調整したトリム値を覚えておきましょう。

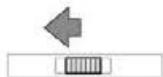
○ステアリング操作をしていない状態でRCモデルが左に曲がってしまう。

ステアリングトリム(1ch)を右方向に動かします。



○ステアリング操作をしていない状態でRCモデルが右に曲がってしまう。

ステアリングトリム(1ch)を左方向に動かします。



○スロットル操作をしていない状態でRCモデルが前進してしまう。

スロットルトリム(2ch)を下方向に動かします。



○スロットル操作をしていない状態でRCモデルが後進してしまう。

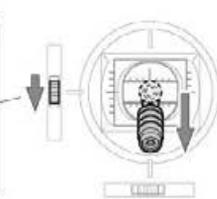
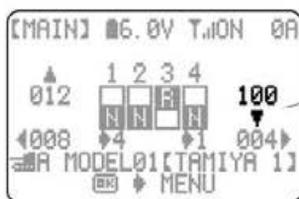
スロットルトリム(2ch)を上方向に動かします。



《トリムを使った特殊操作》

●トリムは特殊操作にも使用できません。トリム値を[100]にしてスティック操作を行います。詳細はRCタンク / RCTレーラー / RCピックアップトラックのオペレーションマニュアルやMFCユニットの取扱説明書をご覧ください。

《操作例》



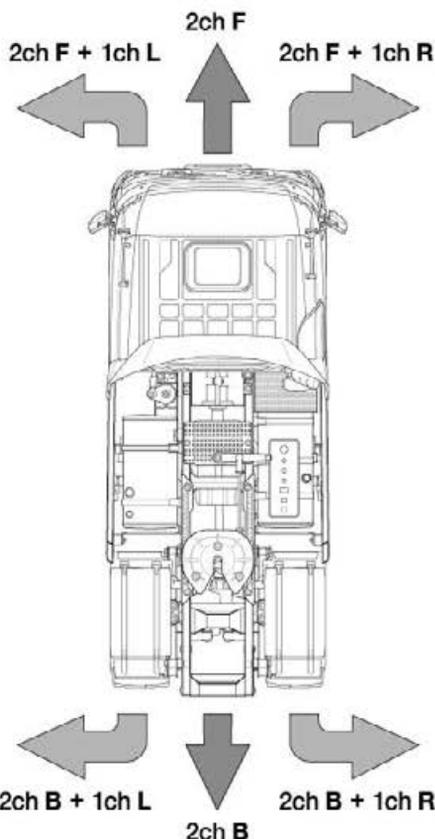
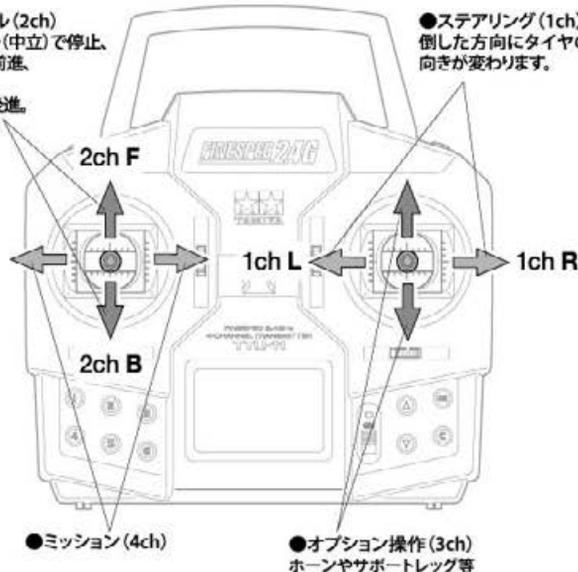
基本操作(RCTレーラー/RCピックアップトラック)

《スティック操作》 ★左スティック(2ch)を大きく倒すと走行速度が速くなります。

F: 前進, B: 後退またはブレーキ, L: 左, R: 右

●スロットル(2ch)
ニュートラル(中立)で停止。
上に倒すと前進、
下に倒すと
ブレーキ/後進。

●ステアリング(1ch)
倒した方向にタイヤの
向きが変わります。



★RCモデルにもステアリングとミッション調整用の構造があります。まずはそちらで調整してください。

《ミッションのトリム調整》

●ミッションのシフトフォークの位置が合わない場合。
→ MFC-01: ミッショントリム(4ch)を調整します。
→ MFC-02/03: MFCユニットのミッションティーチング機能で調整します。
ミッションティーチングをすると4chトリムの操作は無効になります。
※調整後はエンドポイントの調整が必要です(P.21, P.22)。

基本操作 (RCタンク)

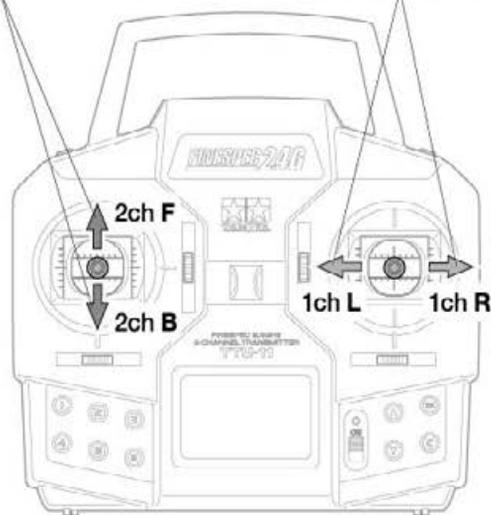
《スティック操作》

- ★DMDユニットによってはスティックを大きく倒すほど動作速度が速くなります。
- ★ステアリング(緩旋回、信地旋回、超信地旋回)はご使用のDMDユニットによって操作方法が異なります。詳しくはオペレーションマニュアル等を参照してください。

F: 前進, B: 後退またはブレーキ, L: 左, R: 右, U: 上, D: 下

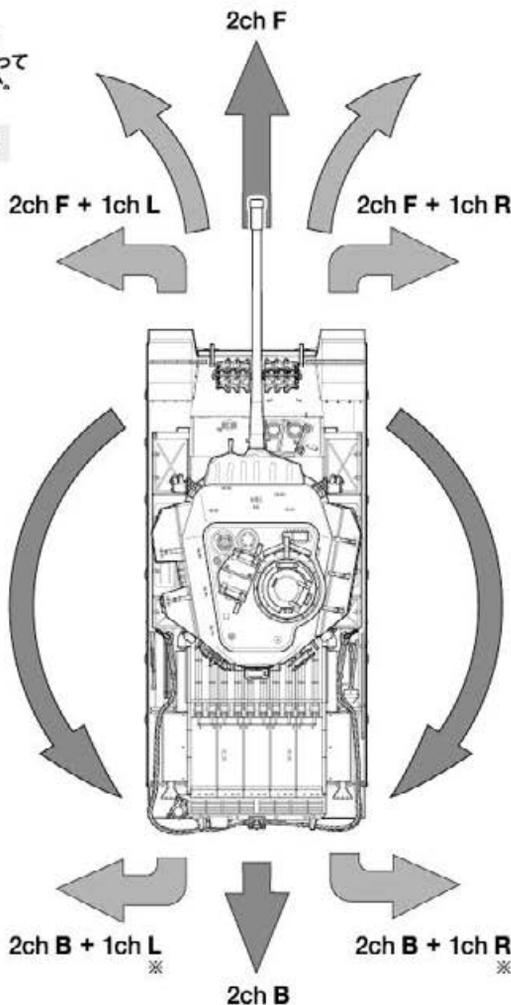
- スロットル (2ch)
ニュートラル (中立) で停止、上に倒すと前進、下に倒すと後退。

- ステアリング (1ch)
旋回します。旋回の仕方は2chとの組み合わせで決まります。



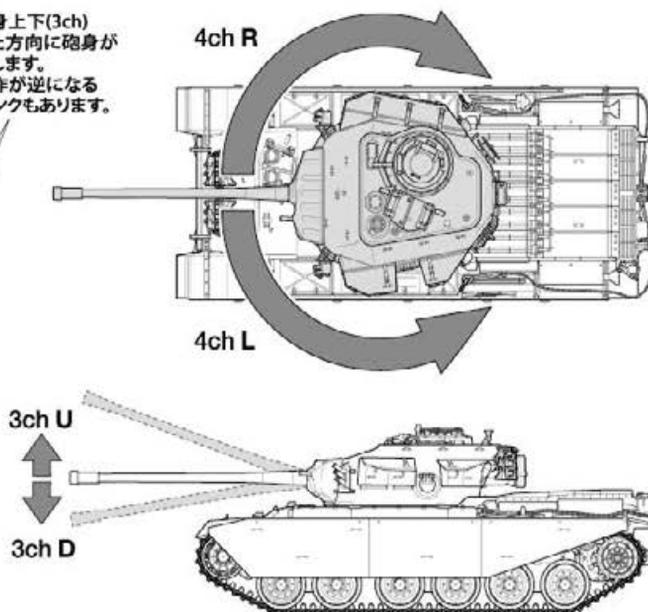
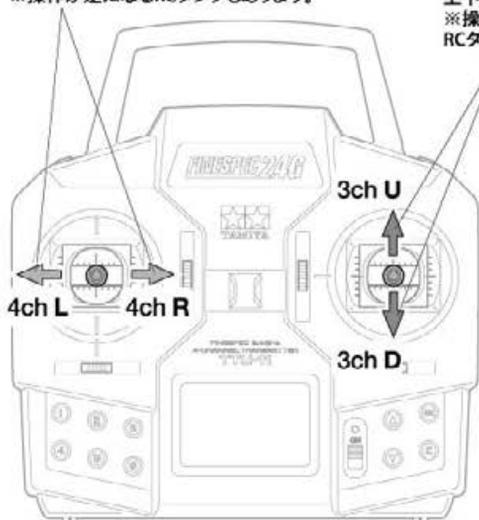
- ★トリム調整は行わないでください。
- ★DMDユニットのティーチングを行ってください。
- ★サブトリム設定、エンドポイント設定を行わないでください。

※後進時のステアリング操作が左右逆になるRCタンクもあります。



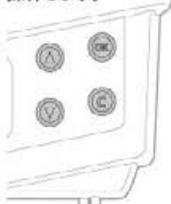
- 砲塔旋回または砲身旋回(4ch)
倒した方向に砲塔または砲身が旋回します。
※操作が逆になるRCタンクもあります。

- 砲身上下(3ch)
倒した方向に砲身が上下します。
※操作が逆になるRCタンクもあります。



液晶画面の基本操作

●送信機右下のセットボタンで操作します。



▲カーソル
上ボタン(▲)と下ボタン(▼)で
設定作業用のカーソルを上下
に移動します。

このアイコンがある場合は、カ
ーソルが1番上にある時は上ボ
タン(▲)、1番下にある時は下
ボタン(▼)でページが切り替わ
ります。

▲カーソル
上ボタン(▲)と下ボタン(▼)で
設定を変更します。

```
[FUNCTION BUTTON] C3H
5 C2 START/STOP
7 A4 GBC SYSTEM
8 C3 N. BRAKE SEL
9 A1 MAIN GUN
10 A2 MACHINE GUN
SAVE
[E] SETTING 1
```

OK OKボタンを押すとカーソル
が示す項目に進み、カーソ
ルが変化します。

SAVE OKボタンを押すと
変更した設定値が
保存されます。

```
[FUNCTION BUTTON] H40
6 C2 START/STOP
7 A4 GBC SYSTEM
8 C3 N. BRAKE SEL
9 A1 MAIN GUN
10 A2 MACHINE GUN
SAVE
[E] SETTING 1
```

OK OKボタンを押すと設定値が
仮保存されます。

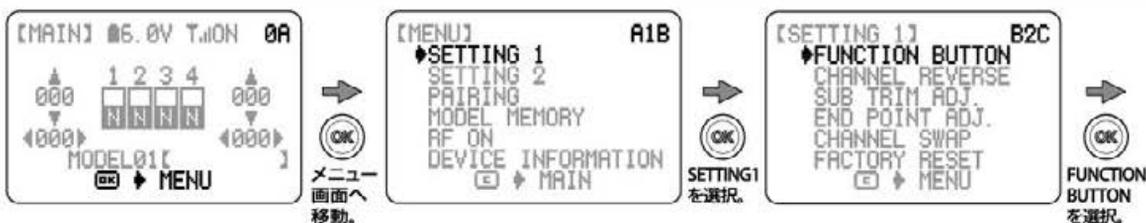
C Cボタンを押すと保存せずに
前の項目に戻ります。

★多くの設定ではOKボタンでの設定値決定は仮の保存です。
その後にSAVEを選択することで正式に設定値が保存されます。

ファンクションボタンの初期設定方法

●タミヤ製のDMDユニットやMFCユニットは、送信機のスティックやトリムレバーの特殊な操作により、様々なアクションを実現でき
ます。本製品にはこれらの特殊操作を登録して簡単に実行できるファンクションボタンが備わっています。初期状態ではファンクシ
ョンボタンは未設定ですが、よく使う操作の組み合わせをまとめたプリセットが用意されているので、簡単に設定することができます。
●プリセットはユニットタイプごとに用意されています。P.8をご覧ください。お手持ちのRCモデルに合わせてユニットタイプを選択し
てください。ただし、設定可能な全ての操作が割り当てられてはいないので、必要な操作はご自身で割り当ててください。
●ファンクションボタンの特殊な操作は、各RCモデルのオペレーションマニュアルやMFCユニットの取扱説明書に従っています。それ
らの説明書とP.27を合わせてご覧ください。

ファンクションボタンの設定画面への切替え



ファンクションボタンの設定画面

《ファンクションボタン設定画面内の各部説明》

選択したユニットタイプ
を表示します。
P.8、P.14、P.15を確認
して使用するユニット
タイプを設定します。

```
[FUNCTION BUTTON] C3H
TYPE TANK A
1 A3 LIGHT POS.
2 C4 VOL. UP
3 NO ACTION
4 NO ACTION
5 C5 VOL. DOWN
[E] SETTING 1
```

```
[FUNCTION BUTTON] C3H
TYPE TANK A
1 A3 LIGHT POS.
2 C4 VOL. UP
3 NO ACTION
4 NO ACTION
5 C5 VOL. DOWN
[E] SETTING 1
```

```
[FUNCTION BUTTON] C3H
TYPE TANK A
1 A3 LIGHT POS.
2 C4 VOL. UP
3 NO ACTION
4 NO ACTION
5 C5 VOL. DOWN
[E] SETTING 1
```

```
[FUNCTION BUTTON] C3H
6 C2 START/STOP
7 A4 GBC SYSTEM
8 C3 N. BRAKE SEL
9 A1 MAIN GUN
10 A2 MACHINE GUN
SAVE
[E] SETTING 1
```

```
[FUNCTION BUTTON] C3H
6 C2 START/STOP
7 A4 GBC SYSTEM
8 C3 N. BRAKE SEL
9 A1 MAIN GUN
10 A2 MACHINE GUN
SAVE
[E] SETTING 1
```

```
[FUNCTION BUTTON] C3H
6 C2 START/STOP
7 A4 GBC SYSTEM
8 C3 N. BRAKE SEL
9 A1 MAIN GUN
10 A2 MACHINE GUN
SAVE
[E] SETTING 1
```

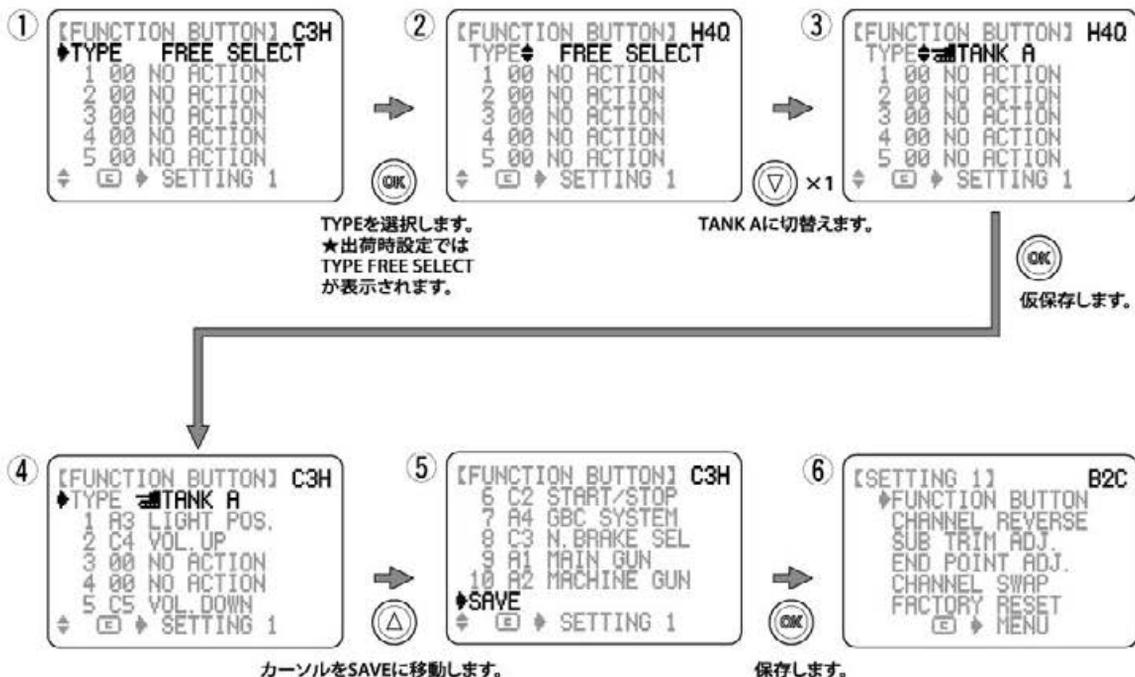
送信機のファンクションボタン1~10
の番号です。

操作に割り振られたコマンドNo.です。
ファンクションボタン設定可能操作一
覧表(別紙①)でそれぞれ割り振られた
アクション、特殊操作を確認できます。

液晶画面に表示されるアクションを
示す略称(表示コマンド)、動作内容
はファンクションボタン設定可能操作
一覧表(別紙①)で確認できます。

《TANK A》

●DMD-T09(10式戦車)、DMD-T10(エイブラムス)、DMD-T11S(シェリダン)、DMD-T11C(センチュリオン)を使うRCタンク向けのユニットタイプです(2024年現在)。



★ファンクションボタン設定を個別に変更したい場合は、任意のボタン番号を選択して切替えてください。
詳しくはP.20やP.26とファンクションボタン設定可能操作一覧表をご覧ください。

《TANK B》

●DMD-T03, DMD-T05, DMD-T06, DMD-T07, DMD-T08を使うRCタンク向けのユニットタイプです。
使用するRCタンクによりチャンネルリバース設定が必要な場合もあります。各RCタンクの説明図を参照してください。
★①→②、⑥はTANK Aと同様の画面と操作になります。



《MFC-01》

●MFC-01を使うRCTレーラー向けのユニットタイプです。
★①→②、⑥はTANK Aと同様の画面と操作になります。



【MFC-02】

●MFC-02を使うRCピックアップトラック向けのユニットタイプです。チャンネルリバース設定はプリセット内で設定済みです。
★①→②、⑥はTANK Aと同様の画面と操作になります。

③

```

[FUNCTION BUTTON] H4Q
TYPE MFC-02
1 00 NO ACTION
2 00 NO ACTION
3 00 NO ACTION
4 00 NO ACTION
5 00 NO ACTION
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

④

```

[FUNCTION BUTTON] C3H
TYPE MFC-02
1 A2 LIGHT POS.
2 A3 HAZARD SW
3 A4 BRAKE SET
4 00 NO ACTION
5 00 NO ACTION
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

⑤

```

[FUNCTION BUTTON] C3H
6 C2 START/STOP
7 D5 TURN SIG.
8 B2 HI-BEAM
9 D6 TURN SIG.
10 B1 HORN
  [SAVE]
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

×4 MFC-02に切替えます。 仮保存します。 カーソルをSAVEに移動します。 保存します。

【MFC-03】

●MFC-03を使うRCトレーラー向けのユニットタイプです。
★①→②、⑥はTANK Aと同様の画面と操作になります。

③

```

[FUNCTION BUTTON] H4Q
TYPE MFC-03
1 00 NO ACTION
2 00 NO ACTION
3 00 NO ACTION
4 00 NO ACTION
5 00 NO ACTION
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

④

```

[FUNCTION BUTTON] C3H
TYPE MFC-03
1 A2 LIGHT POS.
2 A1 HAZARD SW
3 A3 HORN/S. LEG
4 E4 HAZ. SW.
5 A4 HORN A/B
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

⑤

```

[FUNCTION BUTTON] C3H
6 C2 START/STOP
7 D5 TURN SIG. L
8 B2 HI-BEAM
9 D4 TURN SIG. R
10 B1 HORN/CPLD
  [SAVE]
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

×5 MFC-03に切替えます。 仮保存します。 カーソルをSAVEに移動します。 保存します。

【TANK X】

●2024年以降に発売されるRCタンク向けのユニットタイプです(詳細はRCモデルの説明図をご覧ください)。
★①→②、⑥はTANK Aと同様の画面と操作になります。

③

```

[FUNCTION BUTTON] H4Q
TYPE TANK X
1 00 NO ACTION
2 00 NO ACTION
3 00 NO ACTION
4 00 NO ACTION
5 00 NO ACTION
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

④

```

[FUNCTION BUTTON] C3H
TYPE TANK X
1 A3 LIGHT POS.
2 C4 VOL. UP
3 D3 LT. ON/OFF
4 C1 N/B SELECT
5 C5 VOL. DOWN
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

⑤

```

[FUNCTION BUTTON] C3H
6 C2 START/STOP
7 A4 GBC SYSTEM
8 C3 N. BRAKE SEL
9 A1 MAIN GUN
10 A2 MACHINE GUN
  [SAVE]
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

×6 TANK Xに切替えます。 仮保存します。 カーソルをSAVEに移動します。 保存します。

【MFC-X】

●2024年以降に発売されるRCトレーラー向けのユニットタイプです(詳細はRCモデルの説明図をご覧ください)。
★①→②、⑥はTANK Aと同様に操作します。

③

```

[FUNCTION BUTTON] H4Q
TYPE MFC-X
1 00 NO ACTION
2 00 NO ACTION
3 00 NO ACTION
4 00 NO ACTION
5 00 NO ACTION
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

④

```

[FUNCTION BUTTON] C3H
TYPE MFC-X
1 A2 LIGHT POS.
2 A1 HAZARD SW
3 A3 HORN/S. LEG
4 E4 HAZ. SW.
5 A4 ACT1 SW.
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

⑤

```

[FUNCTION BUTTON] C3H
6 C2 START/STOP
7 D5 TURN SIG. L
8 B2 HI-BEAM
9 D4 TURN SIG. R
10 B1 HORN/CPLD
  [SAVE]
  [E] [D] SETTING 1
  
```

→

×7 MFC-Xに切替えます。 仮保存します。 カーソルをSAVEに移動します。 保存します。

ファンクションボタンの補足

★RCモデル自身が特殊操作を持っていてもプリセットには含まれていない操作もあります。RCモデルの種類やよく使用する機能に合わせて個々のファンクションボタンの設定をお好みで変更してください。また、RCモデル自身が持っていない特殊操作をファンクションボタンで実行してしまうと、思わぬ誤動作につながります。使用しない操作はファンクションボタン設定から外すために[00 NO ACTION] (アクション無し)に設定を変更してください。

★特殊操作をRCモデルが受け取りアクションを実行するタイミングは、[1:操作されたら直ぐに実行する]、[2:操作し続けることで実行し続ける]、[3:操作が終わった時に実行する]と様々です。ファンクションボタンによる操作も同様です。

★ユニットタイプTANK X、MFC-Xは現時点(2024年)で該当製品はありません。

[FUNCTION BUTTON] C3H
 TYPE TANK A
 1 A3 LIGHT POS.
 2 C4 VOL UP
 3 00 NO ACTION
 4 00 NO ACTION
 5 C5 VOL DOWN
 [SAVE] SETTING 1

TANK A

- 1: ライト点灯切替え
- 2: 音量 UP
- 3: アクション無し
- 4: アクション無し
- 5: 音量 DOWN

[FUNCTION BUTTON] C3H
 6 C2 START/STOP
 7 A4 GBC SYSTEM
 8 C3 N.BRAKE SEL
 9 A1 MAIN GUN
 10 A2 MACHINE GUN
 [SAVE] SETTING 1

- 6: エンジン始動・停止切替え
- 7: 砲安定装置 ON/OFF
- 8: ブレーキ設定
- 9: 主砲発砲
- 10: 機銃発砲

[FUNCTION BUTTON] C3H
 TYPE TANK B
 1 00 NO ACTION
 2 00 NO ACTION
 3 00 NO ACTION
 4 00 NO ACTION
 5 00 NO ACTION
 [SAVE] SETTING 1

TANK B

- 1: アクション無し
- 2: アクション無し
- 3: アクション無し
- 4: アクション無し
- 5: アクション無し

[FUNCTION BUTTON] C3H
 6 00 NO ACTION
 7 00 NO ACTION
 8 00 NO ACTION
 9 A1 MAIN GUN
 10 A2 MACHINE GUN
 [SAVE] SETTING 1

- 6: アクション無し
- 7: アクション無し
- 8: アクション無し
- 9: 主砲発砲
- 10: 機銃発砲

[FUNCTION BUTTON] C3H
 TYPE MFC-01
 1 A1 HAZARD SW
 2 00 NO ACTION
 3 A3 HORN/S.LEG
 4 A4 REV.ON/OFF
 5 00 NO ACTION
 [SAVE] SETTING 1

MFC-01

- 1: ウィンカー / ハザード切替え
- 2: アクション無し
- 3: ホーン / サポートレッグ切替え
- 4: 空ぶかし ON/OFF
- 5: アクション無し

[FUNCTION BUTTON] C3H
 6 C1 START/STOP
 7 A2 LIGHT POS.
 8 B4 HORN/SLDN
 9 B1 HORN/CPLD
 10 B3 HORN/SLUP
 [SAVE] SETTING 1

- 6: エンジン始動・停止切替え
- 7: ライト点灯切替え
- 8: ホーン / サポートレッグ下降
- 9: ホーン / カブラー切り離し
- 10: ホーン / サポートレッグ上昇

[FUNCTION BUTTON] C3H
 TYPE MFC-02
 1 A2 LIGHT POS.
 2 A3 HAZARD SW
 3 A4 BRAKE SET
 4 00 NO ACTION
 5 00 NO ACTION
 [SAVE] SETTING 1

MFC-02

- 1: ライト点灯切替え
- 2: ウィンカー / ハザード切替え
- 3: ブレーキ設定切替え操作
- 4: アクション無し
- 5: アクション無し

[FUNCTION BUTTON] C3H
 6 C2 START/STOP
 7 D6 TURN SIG.
 8 B2 HI-BEAM
 9 D6 TURN SIG.
 10 B1 HORN
 [SAVE] SETTING 1

- 6: エンジン始動・停止切替え
- 7: ウィンカー準備
- 8: ハイビーム
- 9: ウィンカー準備
- 10: ホーン

[FUNCTION BUTTON] C3H
 TYPE MFC-03
 1 A2 LIGHT POS.
 2 A1 HAZARD SW
 3 A3 HORN/S.LEG
 4 E4 HAZ. SW.
 5 A4 HORN A/B
 [SAVE] SETTING 1

MFC-03

- 1: ライト点灯切替え
- 2: ウィンカー / ハザード切替え
- 3: ホーン / サポートレッグ切替え
- 4: ハザード音切替え
- 5: ホーン A/B切替え

[FUNCTION BUTTON] C3H
 6 C2 START/STOP
 7 D5 TURN SIG. L
 8 B2 HI-BEAM
 9 D4 TURN SIG. R
 10 B1 HORN/CPLD
 [SAVE] SETTING 1

- 6: エンジン始動・停止切替え
- 7: ウィンカー左
- 8: ハイビーム
- 9: ウィンカー右
- 10: ホーン / カブラー切り離し

[FUNCTION BUTTON] C3H
 TYPE TANK X
 1 A3 LIGHT POS.
 2 C4 VOL UP
 3 D3 LT. ON/OFF
 4 C1 N/B SELECT
 5 C5 VOL DOWN
 [SAVE] SETTING 1

TANK X

- 1: ライト点灯切替え
- 2: 音量 UP
- 3: ライト ON/OFF
- 4: Nモード / Bモード切替え
- 5: 音量 DOWN

[FUNCTION BUTTON] C3H
 6 C2 START/STOP
 7 A4 GBC SYSTEM
 8 C3 N.BRAKE SEL
 9 A1 MAIN GUN
 10 A2 MACHINE GUN
 [SAVE] SETTING 1

- 6: エンジン始動・停止切替え
- 7: 砲安定装置 ON/OFF
- 8: ブレーキ設定
- 9: 主砲発砲
- 10: 機銃発砲

[FUNCTION BUTTON] C3H
 TYPE MFC-X
 1 A2 LIGHT POS.
 2 A1 HAZARD SW
 3 A3 HORN/S.LEG
 4 E4 HAZ. SW.
 5 A4 ACT1 SW.
 [SAVE] SETTING 1

MFC-X

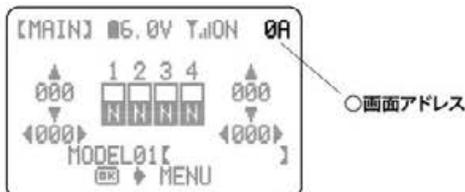
- 1: ライト点灯切替え
- 2: ウィンカー / ハザード切替え
- 3: ホーン / サポートレッグ切替え
- 4: ハザード音切替え
- 5: アクション1切替え

[FUNCTION BUTTON] C3H
 6 C2 START/STOP
 7 D5 TURN SIG. L
 8 B2 HI-BEAM
 9 D4 TURN SIG. R
 10 B1 HORN/CPLD
 [SAVE] SETTING 1

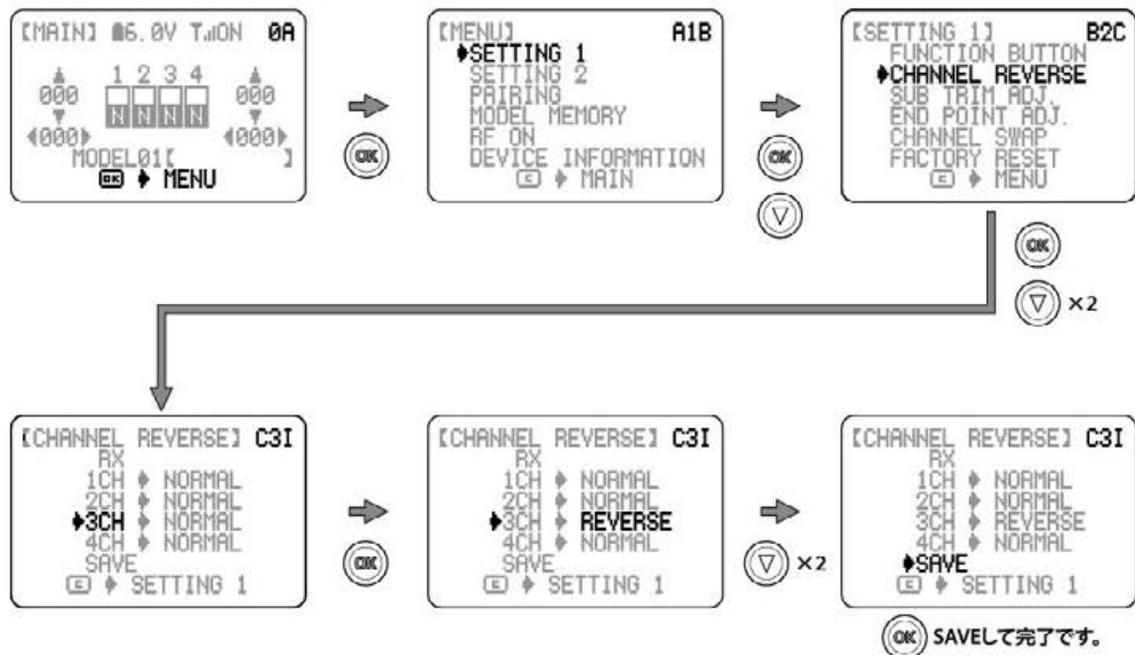
- 6: エンジン始動・停止切替え
- 7: ウィンカー左
- 8: ハイビーム
- 9: ウィンカー右
- 10: ホーン / カブラー切り離し

画面切替の操作例

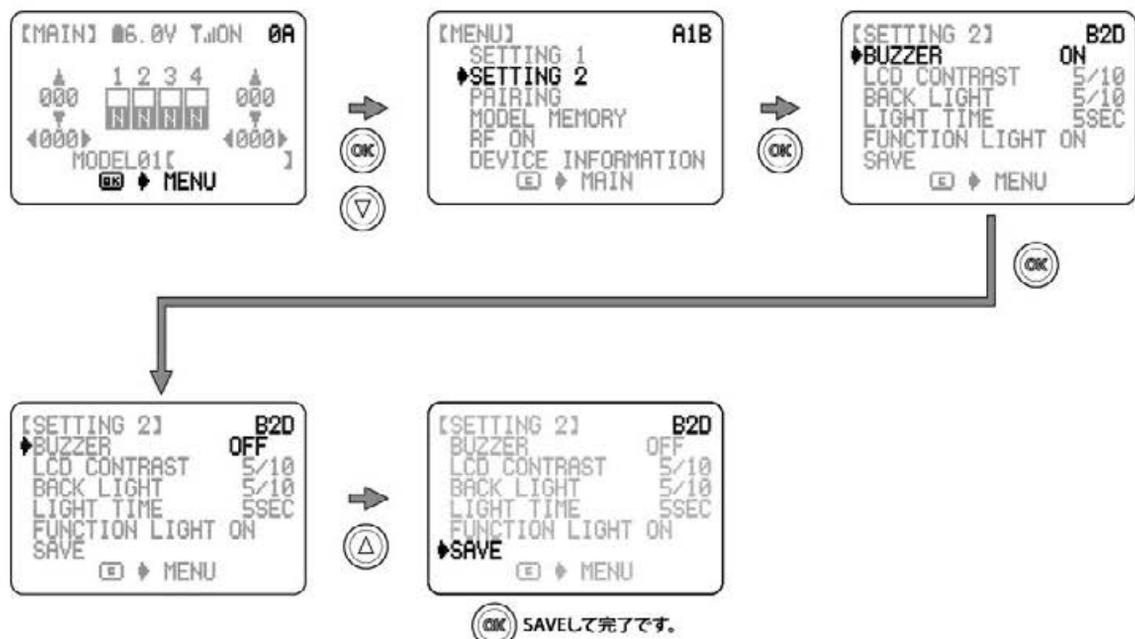
●液晶画面の切替えは画面右上の画面アドレスを参考にしてください。各画面の詳細については、P.19以降や画面マップ(別紙①)を参照してください。



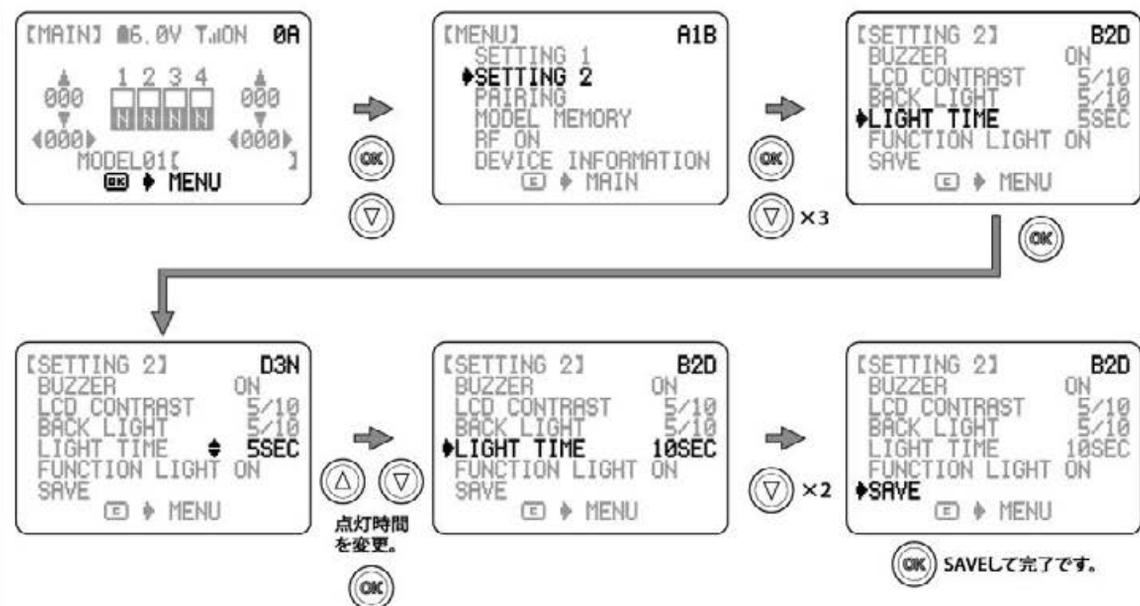
《例:3chをリバース状態で使いたい》



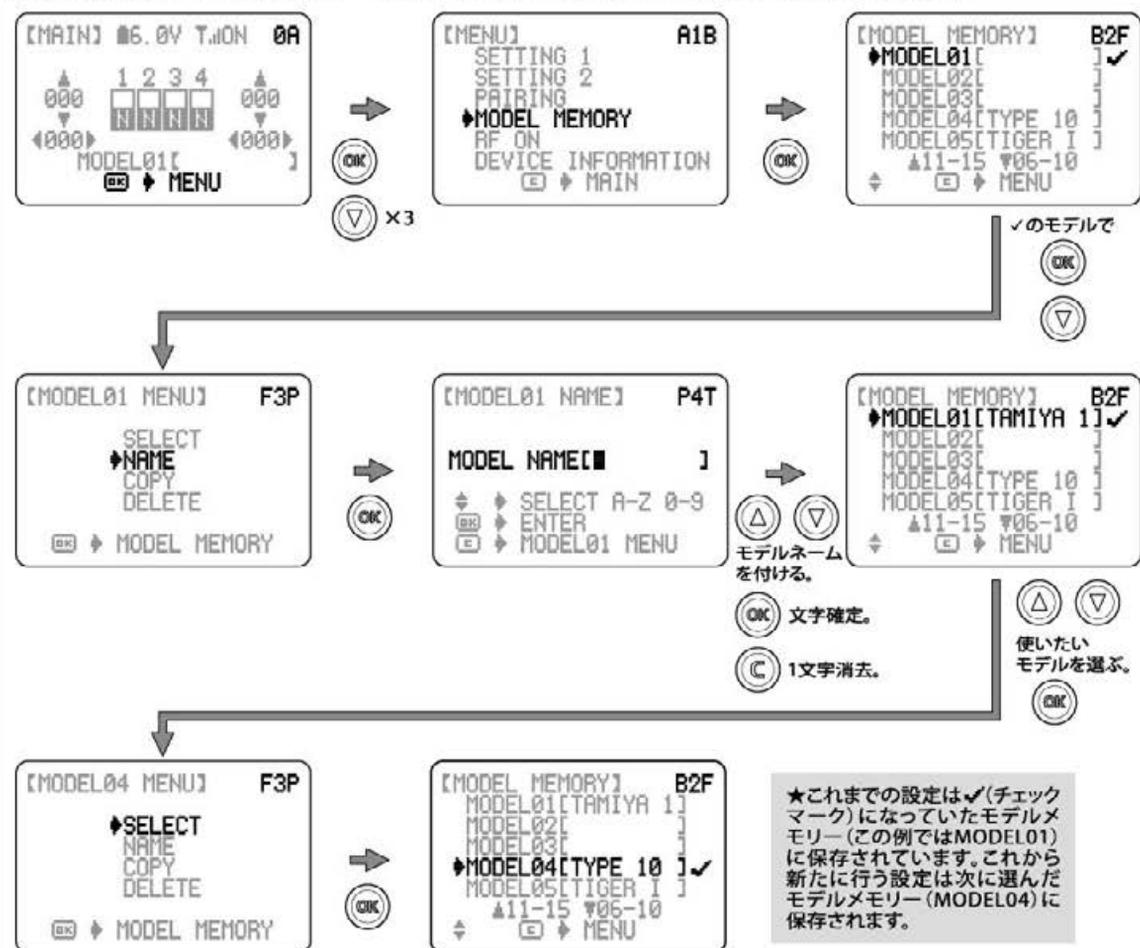
《例:ブザー音を消したい》



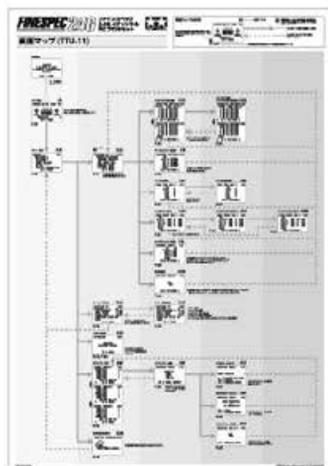
《例：液晶画面のバックライトの点灯時間を変えたい》



《例：今現在使用中のモデルメモリーに名前を付けて保存し、別のRCモデル用の操作設定を始めたい》



●画面の切替えについては、画面マップ(別紙①)も参考にしてください。



●画面マップ

●画面内の略語の意味。
 CH …… チャンネル RX …… 受信機
 LCD …… 液晶画面 TX …… 送信機

《起動画面》

●起動時の画面です。一定時間で切替わります。

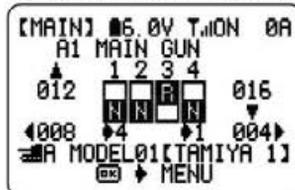


P.19
 ⇒ メイン画面
 0A

※表示されるVER.番号は異なる場合があります。

《メイン画面 0A》

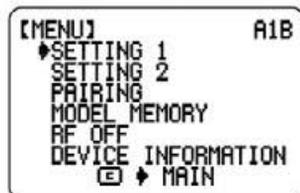
●トリム値や送信機電圧、一部の設定内容を表示します。OKボタンを押すとメニュー画面に切替わります。送信機の電源をONにすると、OFFにした時の直前の設定が表示されます。



P.19
 ⇒ メニュー画面
 A1B

《メニュー画面 A1B》

●使用したい項目を選択します。



SETTING 1
 設定する項目を選択する画面に切替わります。

P.19 ⇒ セッティング1画面
 B2C

SETTING 2
 ブザーや液晶画面に関する設定に切替わります。

P.23 ⇒ セッティング2画面
 B2D

PAIRING
 受信機とのペアリングモードに切替わります。

P.23 ⇒ ペアリング設定
 B2E

MODEL MEMORY
 モデルメモリー選択に切替わります。

P.24 ⇒ モデルメモリー選択
 B2F

RF ON ⇔ RF OFF
 電波出力ON/OFF設定を切替えます。

P.24 ⇒ OKボタンを押すたびに電波出力のON/OFFが切替わります。
 ★設定は保存されません。
 起動時には常にON状態です。

DEVICE INFORMATION
 技術基準適合証明番号を表示します。

P.26 ⇒ 電波認証表示画面
 B2G

《セッティング1画面 B2C》

●送受信信号に関する設定項目を選択します。



FUNCTION BUTTON
 ファンクションボタン設定に切替わります。

P.20 ⇒ ファンクションボタン設定
 C3H

CHANNEL REVERSE
 出力信号のリバース設定に切替わります。

P.20 ⇒ チャンネルリバーズ設定
 C3I

SUB TRIM ADJ.
 サブトリム設定に切替わります。

P.21 ⇒ サブトリム設定
 C3J

END POINT ADJ.
 エンドポイント設定に切替わります。

P.21 ⇒ エンドポイント設定
 C3K

CHANNEL SWAP
 出力する信号のチャンネル設定に切替わります。

P.22 ⇒ チャンネルスワップ設定
 C3L

FACTORY RESET
 リセット画面に切替わります。

P.23 ⇒ 設定初期化
 C3M

《ファンクションボタン設定 C3H》

★TANK A/Bを選択した場合は、サブトリム設定やエンドポイント設定を行わないでください。ファンクションボタンによる操作ができなくなります。

【FUNCTION BUTTON】C3H

```
TYPE TANK A
1 A3 LIGHT POS.
2 C4 VOL. UP
3 00 NO ACTION
4 00 NO ACTION
5 C5 VOL. DOWN
[OK] SETTING 1
```

【FUNCTION BUTTON】C3H

```
5 C2 START/STOP
7 A4 GBC SYSTEM
8 C3 N. BRAKE SEL
9 A1 MAIN GUN
10 A2 MACHINE GUN
SAVE
[OK] SETTING 1
```

●ファンクションボタンに割り当てる操作を設定できます。

ユニットタイプを選択することで、ファンクションボタンにプリセットが割り当てられます。プリセットをベースに好みの操作を個々のファンクションボタンに割り当てることができ、割り当ての際にはユニットタイプに応じた選択肢(A1~G4)から選ぶことができます。ユニットタイプを選択すると、チャンネルリバーブ設定とチャンネルスワップ設定も自動的に変更されます。

TYPE

ユニットタイプの設定に切り替わります。ファンクションボタンの設定をプリセットに戻したい時も選択します。モデルマークはユニットタイプごとに決められています。



→ **P.20** ユニットタイプの設定 H4Q

1~10

数字が示すファンクションボタンの設定に切り替わります。1~10のファンクションボタンに操作を割り当てます。



→ **P.20** ファンクションボタン個別設定 H4Q

SAVE

設定を確定します。



→ 現在の表示状態を保存し、セッティング1画面(B2C)に戻ります。

《ユニットタイプ設定 H4Q》

【FUNCTION BUTTON】H4Q

```
TYPE TANK A
1 00 NO ACTION
2 00 NO ACTION
3 00 NO ACTION
4 00 NO ACTION
5 00 NO ACTION
[OK] SETTING 1
```



ユニットタイプを選択します。

選択できる項目はP.8や別紙のファンクションボタン設定可能操作一覧表を参考にしてください。同じユニットタイプを再度選択することで、変更した個々のファンクションボタン設定をプリセットに戻すこともできます。



選択したユニットタイプを仮保存し、前の画面(C3H)に戻ります。SAVEを選択して保存してください。

《ファンクションボタン個別設定 H4Q》

【FUNCTION BUTTON】H4Q

```
TYPE TANK A
1 A3 LIGHT POS.
2 C4 VOL. UP
3 00 NO ACTION
4 00 NO ACTION
5 C5 VOL. DOWN
[OK] SETTING 1
```



ファンクションボタンに割り当てる操作を選択します。

選択できる項目はユニットタイプごとに異なります。詳細はP.26とファンクションボタン設定可能操作一覧表を参照してください。



現在の表示状態を仮保存し、前の画面(C3H)に戻ります。SAVEを選択して保存してください。

【FUNCTION BUTTON】H4Q

```
6 C2 START/STOP
7 A4 GBC SYSTEM
8 C3 N. BRAKE SEL
9 A1 MAIN GUN
10 A2 MACHINE GUN
SAVE
[OK] SETTING 1
```

《チャンネルリバーブ設定 C3I》

★チャンネルリバーブ設定をするRCタンクやRCピックアップトラックでは、ティーティングの前に行うか後に行うかがRCモデルによって異なります。RCモデルの説明書に従ってください。

●チャンネルごとにスティック操作の出力の反転を設定できます。NORMALに設定すると通常の信号を出力します。REVERSEに設定すると受信機の名チャンネルから出力する信号を反転します。サーボではスティックの操作に対する回転方向が逆向きになります。

【CHANNEL REVERSE】C3I

```
RX
1CH REVERSE
2CH NORMAL
3CH NORMAL
4CH REVERSE
SAVE
[OK] SETTING 1
```



変更するチャンネルにカーソルを移動し選択します。



■CH NORMAL ⇄ ■CH REVERSE

チャンネルごとにノーマル/リバーブを設定します。



→ OKボタン押すたびにNORMAL/REVERSEを切替えます。

SAVE

設定を確定します。



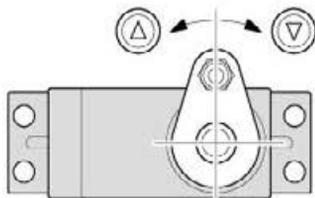
→ 現在の表示状態を保存し、セッティング1画面(B2C)に戻ります。

《サブトリム設定 C3J》

●チャンネルごとにサブトリムを設定できます。
出力信号のニュートラル・最大・最小をまとめてずらしします。RCモデルにサーボを組み付けるときの、ホーン的位置調整などに使用します。



《サブトリム値の設定 J4R》



- ★トリムレバーでトリムを[0]に戻してから設定をしてください。
- ★ユニットタイプをTANK A/Bに設定した時は、サブトリム設定をしないでください。ユニットタイプをMFC-01/02/03に設定した時は、サーボの動作範囲内でサブトリム設定をしてください。動作範囲を超えるとサーボが壊れる場合があります。
- ★サブトリム設定でニュートラル位置をずらすと、エンドポイント設定もずれます。エンドポイント設定より先にサブトリムを設定してください。
- ★サブトリム設定およびエンドポイント設定後は、必ずティーチングとフェイルセーフ設定(P.7)を再度行ってください。



変更するチャンネルを選択します。



■CH

選択したチャンネルのサブトリム値の設定に切り替わります。



➔ **P.21** サブトリム値の設定 J4R

SAVE

設定を確定します。



➔ 現在の表示状態を保存し、セッティング1画面(B2C)に戻ります。



サブトリム値を上げます。
サーボホーンは反時計回りに動きます。



サブトリム値を下げます。
サーボホーンは時計回りに動きます。

★設定可能な範囲は[-100]~[+100]です。
RCトレーラー、RCピックアップトラックの場合は[-50]~[+50]の範囲で使用してください。



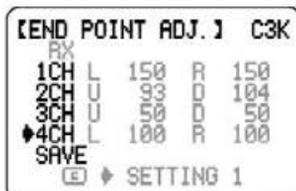
現在の表示状態を仮保存し、前の画面(C3J)に戻ります。
SAVEを選択して保存してください。

※使用するサーボの信号が逆、または設定がリバースだと、サーボの動作する向きが逆になる場合があります。

★左図は送信機のスティックがニュートラルの状態です。

《エンドポイント設定 C3K》

●チャンネルごとにエンドポイントを設定できます。
出力信号の最大・最小を個別にずらしします。RCモデルのステアリングやミッションの稼働範囲の調整等に使用します。



- ★チャンネルリバース設定やサブトリム設定の後に調整してください。
- ★ユニットタイプをTANK A/Bに設定した時は、エンドポイント設定をしないでください。ユニットタイプをMFC-01/02/03に設定した時は、サーボの動作範囲内でエンドポイント設定をしてください。動作範囲を超えるとサーボが壊れる場合があります。
- ★シフトチェンジの設定(MFC-01/02/03)は下記のように行ってください。サーボの作動角が狭いため、シフトチェンジがうまくいかない場合があります。MFC-01/02/03では、はじめに4chのエンドポイントをそれぞれ[110]~[120]の範囲で拡げます。シフトサーボの作動角85~90度が目安(90度を超えないこと)です。ご使用になるサーボの種類によって作動角は異なり、はじめはTSU-03で[120]、TP-53003で[110]を目安とし、作動角が狭い場合は少しずつ([5]~[10])拡げてください。MFC-02とMFC-03ではMFCユニットの特性上、シフト位置は固定です。エンドポイントの調整だけでは調整量がわかりませんが、ミッションティーチングの入力状態にするとエンドポイントの移動量が表示できます。
- ★エンドポイント設定後は、必ずティーチングとフェイルセーフ設定(P.7)を再度行ってください。
- ★エンドポイントを減らして動作量を小さくし過ぎると、ファンクションボタンによる操作ができなくなる場合がありますので注意してください。



変更するチャンネルを選択します。



■CH

選択したチャンネルのエンドポイント値の設定LまたはUに切り替わります。



➔ **P.22** エンドポイント値の設定 L/U K4S

SAVE

設定を確定します。



➔ 現在の表示状態を保存し、セッティング1画面(B2C)に戻ります。

《エンドポイント値の設定 L/U K4S》

●スティックの操作向きを基準に、1,4chの左端(Left)または2,3chの上端(Up)のエンドポイント値を設定します。

| 【END POINT ADJ.】 K4S | | | | | |
|----------------------|---|-----|---|-----|--|
| RX | | | | | |
| 1CH | L | 150 | R | 150 | |
| 2CH | U | 93 | D | 104 | |
| 3CH | U | 50 | D | 50 | |
| 4CH | L | 100 | R | 100 | |
| SAVE | | | | | |
| [E] ▶ SETTING 1 | | | | | |

- ⬆ エンドポイント値を上げます。サーボホーンは時計回り(ニュートラルから遠ざかる方向)に動きます。
- ⬇ エンドポイント値を下げます。サーボホーンは時計回り(ニュートラルに近づく方向)に動きます。

★設定可能な範囲は[50]~[150]です。
RCトレーラー、RCピックアップトラックの場合は[50]~[125]の範囲で使用してください。

P.22
⬆ エンドポイント値の設定 R/D
S5W

※シフトチェンジがうまくいかない場合、P.21を参照してください。

★図は標準サーボ、リバース設定ノーマルの状態で、送信機のスティックを1,4chの左端または2,3chの上端に操作した状態です。



《エンドポイント値の設定 R/D S5W》

●スティックの操作向きを基準に、1,4chの右端(Right)または2,3chの下端(Down)のエンドポイント値を設定します。

| 【END POINT ADJ.】 S5W | | | | | |
|----------------------|---|-----|---|-----|--|
| RX | | | | | |
| 1CH | L | 150 | R | 150 | |
| 2CH | U | 93 | D | 104 | |
| 3CH | U | 50 | D | 50 | |
| 4CH | L | 99 | R | 100 | |
| SAVE | | | | | |
| [E] ▶ SETTING 1 | | | | | |

- ⬆ エンドポイント値を上げます。サーボホーンは反時計回り(ニュートラルから遠ざかる方向)に動きます。
- ⬇ エンドポイント値を下げます。サーボホーンは反時計回り(ニュートラルに近づく方向)に動きます。

★設定可能な範囲は[50]~[150]です。
RCトレーラー、RCピックアップトラックの場合は[50]~[125]の範囲で使用してください。

⬆ 現在の表示状態を仮保存し、前の画面(C3K)に戻ります。SAVEを選択して保存してください。

※シフトチェンジがうまくいかない場合、P.21を参照してください。

★図は標準サーボ、リバース設定ノーマルの状態で、送信機のスティックを1,4chの右端または2,3chの下端に操作した状態です。



《チャンネルスワップ設定 C3L》

●受信機(RX)の1ch~4chコネクターから、送信機(TX)の何チャンネル操作が信号として出力されるかを設定できます。

| 【CHANNEL SWAP】 C3L | | | |
|--------------------|---|-----|----|
| RX | | | TX |
| 1CH | ▶ | 1CH | |
| 2CH | ▶ | 2CH | |
| 3CH | ▶ | 3CH | |
| 4CH | ▶ | 4CH | |
| SAVE | | | |
| [E] ▶ SETTING 1 | | | |

★DMDユニットやMFCユニットを使用する場合は、チャンネルスワップ設定は行わないでください。
★チャンネルスワップ設定後は、改めてチャンネルリバース設定、サブトリム設定、エンドポイント設定をしてください。
★トリム・サブトリム・エンドポイントで選択するチャンネルは受信機のもので、チャンネルスワップをしてこれらを設定する際は、受信機の何チャンネルに対して行うかを選択してください。

⬆ 変更するチャンネルを選択します。

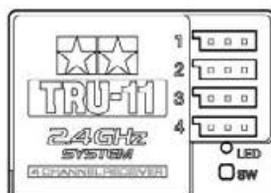
⬆ OKボタンを押すたびにTX側が1CH→2CH→3CH→4CH→1CH→…の順で切り替わります。

SAVE ⬆ 現在の表示状態を保存し、セッティング1画面(B2C)に戻ります。

《設定例1: 左スティックのみでRCを前後左右に動かしたい》

●受信機1chから送信機4chの信号を、受信機4chから送信機1chの信号を出す。

| 【CHANNEL SWAP】 C3L | | | |
|--------------------|---|-----|----|
| RX | | | TX |
| 1CH | ▶ | 4CH | |
| 2CH | ▶ | 2CH | |
| 3CH | ▶ | 3CH | |
| 4CH | ▶ | 1CH | |
| SAVE | | | |
| [E] ▶ SETTING 1 | | | |

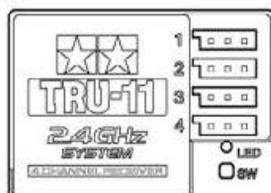


⬆ 〇4ch
⬆ 〇2ch
⬆ 〇3ch
⬆ 〇1ch
出力されるチャンネル操作

《設定例2: 右スティックの左右で、サーボ2つを同時に作動させたい(4WS)》

●受信機1chと受信機4chから送信機1chの信号を出す。

| 【CHANNEL SWAP】 C3L | | | |
|--------------------|---|-----|----|
| RX | | | TX |
| 1CH | ▶ | 1CH | |
| 2CH | ▶ | 2CH | |
| 3CH | ▶ | 3CH | |
| 4CH | ▶ | 1CH | |
| SAVE | | | |
| [E] ▶ SETTING 1 | | | |



⬆ 〇1ch
⬆ 〇2ch
⬆ 〇3ch
⬆ 〇1ch
出力されるチャンネル操作

★RCモデルの中には四輪操舵(4WS)に組み替えられるものがあります。この設定例2を行い、RCモデルの前後のステアリングサーボを受信機の1chと4chに接続します。すると送信機の1chスティック操作でステアリングを同時に動かす4WSが実現し、リバース設定を利用すると正・逆位相の設定ができます。トリム、サブトリム、エンドポイントは1chと4chで別々に設定できます。

《設定初期化 C3M》



●送信機の全ての設定を工場出荷時の初期状態にリセットできます。

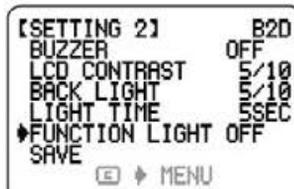
YES/NOを選択します。

NO → リセットをせずにセッティング1画面 (B2C) に戻ります。

YES → リセットをしてセッティング1画面 (B2C) に戻ります。
★全てのモデルメモリー、モデルネームも消去されます。

《セッティング2画面 B2D》

●ブザーや液晶画面に関する各種設定ができます。



BUZZER ON ⇄ BUZZER OFF

トリムレバーやファンクションボタンを押した時に鳴るブザー音のON/OFFを切替えます。

→ OKボタンを押すたびにブザー音のON/OFFを切替えます。

LCD CONTRAST

液晶画面のコントラスト設定に切替わります。

→ **P.23** コントラスト設定
D3N

BACK LIGHT

液晶画面のバックライトの明るさ設定に切替わります。

→ **P.23** バックライト明るさ設定
D3N

LIGHT TIME

液晶画面のバックライト点灯時間の設定に切替わります。

→ **P.23** 点灯時間設定
D3N

FUNCTION LIGHT ON ⇄ FUNCTION LIGHT OFF

ファンクションボタンを押した時の液晶画面のバックライト点灯ON/OFFを切替えます。

→ OKボタンを押すたびに機能のON/OFFを切替えます。

SAVE → 現在の表示状態を保存し、メニュー画面 (A1B) に戻ります。SAVEを選択して保存してください。

★どのボタンを押しても点灯しないようにするには、バックライトの明るさ、または点灯時間を [0] に設定してください。

《コントラスト設定 D3N》



コントラストを変更します。[0/10]~[10/10]を[1/10]刻みで設定できます。



現在の表示状態を仮保存し、前の画面 (B2D) に戻ります。SAVEを選択して保存してください。

《バックライト明るさ設定 D3N》



バックライトの明るさを変更します。[0/10]~[10/10]を[1/10]刻みで設定できます。[0/10]に設定した場合は点灯しません。



現在の表示状態を仮保存し、前の画面 (B2D) に戻ります。SAVEを選択して保存してください。

《バックライト点灯時間設定 D3N》



バックライト点灯時間を変更します。[0]~[30]秒を[5]秒刻みで設定できます。[0]秒に設定した場合は点灯しません。



現在の表示状態を仮保存し、前の画面 (B2D) に戻ります。SAVEを選択して保存してください。

《ペアリング設定 B2E》



●送信機と受信機のペアリング (無線接続) ができます。

付属の受信機は出荷時にペアリング済みです。ペアリング出来ない受信機を使用したい場合にはペアリングを行ってください。

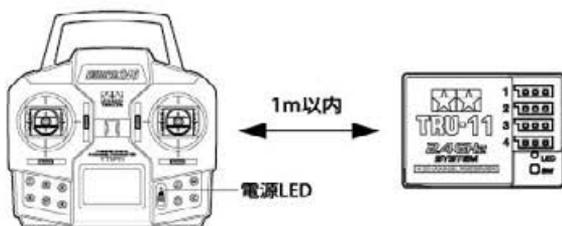
★TRU-09とはペアリング出来ません。

この画面の時、送信機はペアリングモードになっています。ペアリングの手順は次のページを参照してください。

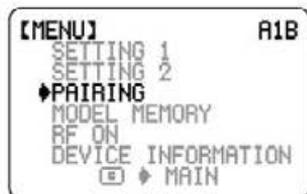
《ペアリングの手順》

⚠ 暴走を避けるため、RCモデルを浮かせた状態にしてください。

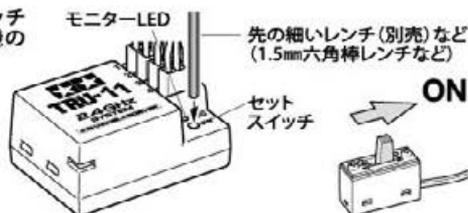
- ① 受信機は配線を行い、電源を入られる状態にしてください。送信機と受信機を1m以内に近づけます。



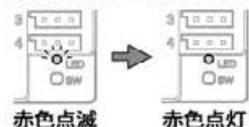
- ② 送信機の電源をONにして、ペアリングモードに切替えます。このとき送信機の電源LEDは赤色と緑色が交互に点灯します。



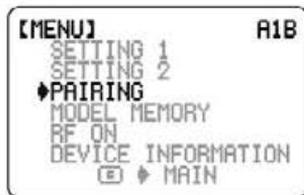
- ③ 受信機のセットスイッチを押しながら、受信機の電源をONにします。



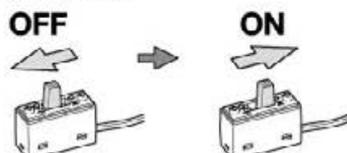
- ④ ペアリングが成功すると受信機のモニターLEDが赤色に点灯します。ペアリングができないと点滅が続きます。ペアリングのタイミング次第では点滅が見えない場合もあります。



- ⑤ 送信機の電源LEDは赤色と緑色に交互点灯を続けています。Cボタンを押してメニュー画面に戻ります。

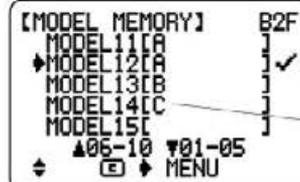


- ⑥ 受信機の電源を入れ直して完了です。確実に動作することを確認してからご使用ください。



★ペアリング後は必ずフェイルセーフ設定を有効にしてください。(P.7参照)。

《モデルメモリー選択 B2F》



●操作するモデルメモリーを選択できます。本製品は15台分のモデルメモリーを内蔵し、個別のRCモデルに合わせた各種設定を保存できます。保存できる設定項目はトリム値、ファンクションボタン設定、チャンネルリバース設定、サブトリム設定、エンドポイント設定、チャンネルスワップ設定、モデルネームです。



モデルメモリーを選択します。



MODEL01~15
選択したモデルメモリーの設定に → P.25 モデルメモリー設定
切替わります。 F3P

○チェックマーク

現在使用しているモデルメモリーの右端にチェックマークが表示されます。メイン画面はここで選択しているモデルメモリーとそのモデルネームを表示します。

○モデルネーム

設定したモデルネームが表示されます。初期状態では空欄です。

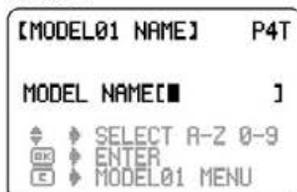
《モデルメモリー設定 F3P》

●現在選択しているモデルメモリーに関する設定ができます。



《モデルネームの入力 P4T》

●現在選択しているモデルメモリーの名前を設定できます。
最大8文字の英数字でモデルネームが付けられます。



《モデルメモリーのコピー P4U》

●現在選択しているモデルメモリーの保存内容を、別のモデルメモリーに上書きコピーできます。



《モデルメモリーの削除 P4V》

●現在選択しているモデルメモリーの保存内容を初期状態にリセットします。使用中のモデルメモリーを削除した場合、使用中の設定も同様にリセットされます。



操作を選択します。

SELECT

現在選択しているモデルメモリーを使用状態(チェックマークが付きます)にします。このモデルメモリーの保存内容が送信機本体に反映され、以降の設定変更が保存されます。

→ モデルメモリーを使用状態にし、モデルメモリー選択画面(B2F)に戻ります。

NAME

モデルネームの入力に切り替わります。

→ **P.25** モデルネームの入力 P4T

COPY

モデルメモリーのコピーに切り替わります。

→ **P.25** モデルメモリーのコピー P4U

DELETE

モデルメモリーの削除に切り替わります。

→ **P.25** モデルメモリーの削除 P4V

カーソル上の位置に入力する文字が切り替わります。使用可能な文字

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
0123456789

★1文字目以外にはスペースも入力可能です。

表示された文字を確定し、カーソルを右に一つ進めます。8文字目を確定すると同時にモデルネームが保存され、モデルメモリー選択(B2F)に戻ります。

1文字消し、カーソルを左に一つ戻します。文字を入れていない状態で押すとモデルメモリー設定(F3P)に戻ります。

コピー先のモデルメモリー(TO)を選択します。



コピーを実行してモデルメモリー選択(B2F)に戻ります。

★左の画面の例では、モデルメモリー01 (FROM) のデータをモデルメモリー02 (TO) にコピーします。
★コピー先のモデルメモリーを上書きすると、コピーする前のデータは復元できません。

YES/NOを選択します。



NO → 削除をせずにモデルメモリー選択(B2F)に戻ります。

YES → 削除をしてモデルメモリー選択(B2F)に戻ります。

★削除したモデルメモリーは復元できません。
削除されるのは現在選択している1台分のモデルメモリーの次の項目でそれぞれ [] 内の設定になります。

トリム値: [0]、ファンクションボタン設定: [FREE SELECT]、
チャンネルリバース設定: [NORMAL]、サブトリム設定: [0]、エンドポイント設定: [100]、
チャンネルスワップ設定: [スワップ無し]、モデルネーム [空欄]。

【DEVICE INFORMATION】



R007-AM0215

●技術基準適合証明番号を表示します。
認証ラベル、技適マークに相当する画面表示です。



→ メニュー画面(A1B)に戻ります。

ファンクションボタン設定可能操作一覧表(別紙①)の見方

- ファンクションボタンの個別設定は、使用するRCモデルのオペレーションマニュアルや対応するユニットの取扱説明書を参照し、別紙のファンクションボタン設定可能操作一覧表と合わせて機能設定してください。
- 一覧表には本製品に登録された全ての特殊な操作が記載されています。全ての操作にはそれぞれコマンドNo. (①) が割り振られています。一覧表では操作するチャンネル(②) やその内容を操作図(③～⑤) で示しています。RCモデルのオペレーションマニュアルや取扱説明書と照らし合わせてください。操作図の右に示す通り、同じ操作でもユニットタイプ(⑦) に応じて表示コマンド(⑧) やアクション(⑨) の内容が異なります。
- ファンクションボタン個別設定(H4Q) 画面にはコマンドNo.と表示コマンドが表示されます。割り当ての際は、コマンドNo.が示す操作図とアクションが希望のものと同じであることを確認しながら行ってください。
- ユニットタイプ[FREE SELECT]には特定のアクションが記載されていません。表示コマンドは全て操作の略式表示(⑩)になります。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ |
|---------|---------------------------------|---------|------|-----------|---------|--|--|---|
| コマンドNo. | 操作チャンネル | 操作スティック | 操作順序 | スティック入力方向 | トリム入力方向 | ユニットタイプ | 表示コマンド | アクション |
| C1 | (2 4▶)(1 3▲) 2ch 4ch 1ch 3ch | L R | MAX | MAX | MAX | TANK A TANK B MFC-01 MFC-02 MFC-03 TANK X MFC-X FREE SELECT | N/B SELECT N/B SELECT START/STOP N/OP SELECT (2 4▶)(1 3▲) N/B SELECT N.BRAKE SEL (2 4▶)(1 3▲) | Nモード/Bモード切替 Nモード/Bモード切替 エンジン始動・停止切替 N/OPモード操作切替 (MFC未定義) Nモード/Bモード切替 ブレーキ設定 (2 4▶)(1 3▲) |

| | | |
|---|-----------|--|
| ① | コマンドNo. | 特殊操作等に割り振られた番号 |
| ② | 操作チャンネル | 操作するチャンネルとその略式表示 |
| ③ | 操作スティック | L:左スティック R:右スティック ※RCモデルの説明図の中には、L・Rが片側のみ表記された図もあります。 |
| ④ | 操作順序 | スティックを操作する順序(トリムの操作がある場合は、先にトリムの操作が行われます) |
| ⑤ | スティック入力方向 | スティックの操作方向と操作量 |
| ⑥ | トリム入力方向 | トリムの入力位置(矢印の方向にトリムを限界(MAX)まで動かす) |
| ⑦ | ユニットタイプ | RCモデルで使用するDMDユニット、MFCユニット(P.8[DMDユニットおよびMFCユニットの分類])を参照) |
| ⑧ | 表示コマンド | メイン画面で表示する操作内容(アクション)の簡易名称 |
| ⑨ | アクション | この操作で実行できるアクション内容 |
| ⑩ | 未定義 | DMDユニットおよびMFCユニット側に操作内容が設定されていない場合(機能として元々入っていない)はRCモデル側ではアクションは作動しません。表示コマンドは操作の略式表示(⑩)になります。 |

ファンクションボタンの割り当て方法

- 使用するDMDユニットまたはMFCユニットのユニットタイプを選択します。(P.13～P.15参照)。
- 選択したユニットタイプには、ファンクションボタンごとに操作がプリセット(P.16参照)されています。ボタンの配置を変えたい場合や、プリセットされていない操作(DMDユニットとMFCユニットで登録されている操作に限る)と入れ替えたい場合に、以下の操作を行ってください。
- RCモデルの説明書(組立説明図・オペレーションマニュアル・取扱説明書)の中から割り当てたい動作とその操作(スティックとトリムの図)を選びます。
- ③で選んだ操作と動作が、操作図(③～⑤)とアクション(⑨)と一致するコマンドNo.(①)をファンクションボタン設定可能操作一覧表の中から探します。操作図やアクションの表記はRCモデルの説明書と若干異なる場合があります。
- ファンクションボタンの設定(P.20)で割り当てたいファンクションボタンの番号(1～10)を選択し、④で探したコマンドNo.を選択します。変更したいファンクションボタンをすべて設定し、[SAVE]をすれば設定は完了です。

★各操作には[ユニットタイプ]ごとにアクションが[表示コマンド]として名称付けされています。その名称は変更することができません。
★[ユニットタイプ]ごとにユニットマークが割り振られています。別のユニットマークを表示したい場合は、ユニットマーク単独で変更はできないので、表示したいユニットマークの[ユニットタイプ]を選択し、そこからファンクションボタンの設定をする必要があります。

補足事項(必ずお読みください)

本製品は一般的な操作を基準に設定がされています。RCタンクおよびRCTレーラー、RCピックアップトラックの設定で、RCモデルによって一般的な設定と異なる操作や機能、動き、禁止事項等がある場合がありますので、下記に従って対応してください。

RCタンクの例外

- [56042] M551 シェリダンの『サーチライト点灯』は、[A4 GBC SYSTEM] (砲安定装置 ON/OFF)を使用してください。
- [56036] 10式戦車にはニュートラル時のブレーキ設定がありません。[C3 N.BRAKE SEL] (ブレーキ設定)のファンクションボタンを押すと[A4 GBC SYSTEM] (砲安定装置 ON/OFF)と[A1 MAIN GUN] (主砲発砲)の操作がされたものとして扱われます。誤動作を避けるため、本製品で[56036] 10式戦車を動かす場合はユニットタイプを[TANK A]に設定した後、[C3 N.BRAKE SEL] (ブレーキ設定)を[00 NO ACTION] (アクション無し)に変更して信号を出さないようにしてください。
- [56025] IV号戦車 J型と[56034] JS-2 1944年型は、他のRCタンクと砲身の上下構造が異なります。そのためファンクションボタンで最適な操作ができません。下記の2つのうちどちらかを選択してご使用ください。
 - (1) 3chのチャンネルリバーをノーマル設定で使用する。この場合[A1 MAIN GUN] (主砲発砲)と[A2 MACHINE GUN] (機銃発砲)は正常に動作しますが、砲身の上下操作が逆になります。
 - (2) 3chをリバー設定で使用する。この場合、砲身の上下操作は正常ですが、[A2 MACHINE GUN]の操作で主砲発砲、[A1 MAIN GUN]の操作で機銃発砲となります。機銃発砲は単発になり、機銃の連続発砲を行うには、ファンクションボタンを使用しない3chのスティックとトリムレバーによる操作が必要です。
- [56023] ヤークトバンサーと[56038] IV号駆逐戦車 ラングについては、他のRCタンクと砲身の旋回構造(左右の動きのみ)が異なります。4chをリバー設定で使用しますが、ティーチングを含む設定方法が異なります。そのためそれぞれの説明図やオペレーションマニュアルに従って、設定を行ってください。設定を順番通りに行わないと、操作とは違う動きをする場合がありますのでご注意ください。
- [56015] M26 バーシングは[A5 REV. OFF] (空ぶかし解除)は使用しないでください。暴走する可能性があります。
- [56009] タイガー1、[56013] M4 シヤーマン、[56017] キングタイガー、[56031] M51 スーパーシャーマンはエンジン停止動作をするときはフェイルセーフを無効にしてください。

RCTレーラー・RCピックアップトラックの補足

- ウィンカー準備の設定 (MFC-02 / MFC-03 / MFC-X)

MFC-02、MFC-03、MFC-Xには[D6 TURN SIG.] (ウィンカー準備)が用意されています。ウィンカー準備をした後にステアリングを切ると進行方向のウィンカーが点滅します。
- シフトチェンジの設定 (MFC-01 / MFC-02 / MFC-03)

サーボの作動角が狭いため、シフトチェンジがうまくいかない場合があります。エンドポイント設定 (P.21)を参照してください。
- オートサポートレグ (TROP.5) 用サーボの設定 (MFC-01 / MFC-03 / MFC-X)

オートサポートレグの操作がうまくいかない場合は、以下の通りに設定を行ってください。

 - ① RCTトラックの組立説明図に従ってアジャスターの位置を調整し、サブトリム設定でニュートラル位置を合わせます。
 - ② 正常に動作するかを確認します。
 - ③ 動かない場合は3chのエンドポイント設定を行います。エンドポイント設定は少しずつ調整してください。サーボやB3のプッシュロッドを破損するおそれがありますので、サーボの作動角は85~90度を目安(90度を超えないこと)に、またB3のプッシュロッドが動作する範囲内で設定を行ってください。
- 取扱説明書には記載されていないコマンド
 - ・ [D2 ESC DL OFF] (ESC遅延解除)

MFC-03ではこの操作でESC出力のDELAY (遅延) 解除が行えます。標準状態では実車に近い操作感にするため、スロットル操作からモーターが動くまで若干タイムラグがあります。解除することでスロットルに合わせてモーターをダイレクトに操作できます。設定は保存されません。起動時には常にDELAY状態です。

 - ・ [D3 MO.LIM OFF] (モーター出力制限解除)

MFC-03はこの操作でモーター出力の制限解除が行えます。レーラーを牽引していない状態のみ、モーター出力の制限を解除します。牽引している場合は、変化しません。設定は保存されません。起動時には常に制限状態です。

 - ・ [E3 DEMO OP] (デモモード切替え)

MFC-03はこの操作でデモモードに切替えられます。コントロールユニットのデモモード切替スイッチの長押しに相当する操作が、送信機で行えます。
- [A3 HORN/S.LEG] (ホーン / サポートレグ切替え) 操作時の注意

[A3 HORN/S.LEG] (ホーン / サポートレグ切替え)でサポートレグモード状態の時、ウィンカー操作をするとステアリングサーボおよびサポートレグ用サーボが動きまわりますので注意してください。
- TROP.45およびTROP.53アクチュエーターセットに含まれるACU-01、ACU-02用の操作は本書にはありません。

全般的な補足説明

- ティーチングの入力方法

使用するDMDユニットやMFCユニットによっては、ティーチング(スティック/トリム/ミッション)操作の順番や方向に指定があります。RCモデルの各ユニットの取扱説明書の指示に従って、正確に入力作業を行ってください。入力する量(目一杯までスティックを操作)によって作動範囲が変化します。適切な位置に合わせてティーチングを行ってください。スティック操作の順番を間違えると、リバー設定をしたような状況になる場合があります。リバー設定で作動方向の向きを変えのではなく、操作の向きが違っていても、ティーチングをやり直すとは正常な動作状態になる場合があります。
- DMDユニットやMFCユニットの動作が正常でない場合

DMDユニットやMFCユニットの動作が正常でない場合に、考えられる要素はいくつもあります。「ファンクションボタンへ設定項目が正常に入力されていない」、「ユニットタイプの選択が間違っている」、「各種ティーチングの入力が間違っている」、「ティーチングをしていない」、「受信機への配線が間違っている」、「使用している送信機や受信機の組合せが異なる」、「使用するサーボの種類が異なる(メーカーや型番が違うなど)」、「バッテリー不足(劣化に伴ったバッテリーの故障など)による影響」等。カスタマーサービスに直に送るのではなく、問題箇所を想像し、原因追及を行ってみて一つ一つ問題点がどこにあるのか、チェックしましょう。
- カスタマーサービスのご利用について

不具合のある場合はP.27~P.30を元にチェックを行い、それでも解決できない場合はカスタマーサービスにご連絡ください。

Q & A (トラブルシューティング)

- 取扱説明書内の設定項目が見つけられない場合や、設定がうまくいかない時は[Q & A]を参考にしてください。
- うまく操作できない、途中からおかしくなった?、そんな時は修理に出す前に、この表を見てトラブルシューティングをしてください。
- 不具合と思われる点や操作できない内容を的確に把握するため、お手持ちのRCモデルの組立説明書やオペレーションマニュアル、各ユニットの取扱説明書を用意し、合わせて確認してください。
- どうしてもトラブルが直らない場合は、弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。その際に何ができないのか的確な情報(使用製品名・不具合が発生している操作や動作内容・使用しているDMDやMFCのユニット名称など)があると、状況が判断しやすく、対応が早くできます。また、カスタマーサービスに故障と思われる部品を送る時は、製品保証書と共に送信機・受信機・対応ユニットなどを一緒に付けていただくと、原因究明までの時間が短縮でき、修理対応が早くなる場合があります。事前にカスタマーサービスに送付する内容物についてもご相談ください。表の[対応]CSは弊社カスタマーサービスの略称です。

| 01 [症状] 送信機が動かない | | | |
|---------------------------------|---|--|------|
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 電源LEDが点灯しない。 | 電源スイッチがOFF。 | 電源スイッチをONにします。 | P.4 |
| | 電池が入っていない。 | 単3形電池を入れます。 | P.9 |
| | 電池が正しく入っていない。 | 単3形電池の向き、位置を確認して正しく入れます。 | P.9 |
| 電源LEDが赤の点灯・点滅。 | 電池が古い(電池残量が少ない)。 | 新しい単3形電池と交換します。 | P.9 |
| 電源LEDは正常(緑色・橙色)。 | 受信機が違う。 | 受信機はTRU-11であることを確認します。 | P.3 |
| | 受信機または各ユニット(DMD・MFC・接続する他の電子機器)の接続の不備や故障。 | 受信機または各ユニットの接続部分を確認します。 弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | CS |
| 電源LEDは正常(緑色・橙色)。 周辺機器も正常。 | 受信機またはユニットの故障。 | 弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | CS |
| ファンクションボタン・スティック・トリムなどがうまく動かない。 | 送信機内の破損や故障。 | 弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | CS |
| 液晶画面が正常に作動しない。 | 液晶画面の故障や内部の断線。 | 弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | CS |

| 02 [症状] 受信機が動かない | | | |
|------------------------|--|--|------------|
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 受信機のモニターLEDが点灯しない。 | 受信機スイッチがOFF。 | 受信機スイッチをONにします。 | P.10 |
| | 送信機電源スイッチがOFF。 | 送信機電源スイッチをONにします。 | P.4 |
| | ベアリングが外れている。 | ベアリングします。 | P.23, P.24 |
| | 受信機がTRU-11以外を使用している。 | 受信機をTRU-11にします。 | P.3 |
| | 各ユニットの接続の不備や故障。 | 各ユニットの接続部分を確認します。 故障の場合は弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | CS |
| モニターLEDが赤の点滅。 | ベアリングまたはフェイルセーフ設定中。 | 設定を完了します。 | P.6 |
| 受信機のモニターLEDは正常(赤色の点灯)。 | 受信機への接続の不備(間違った向きでの接続やコードの断線)。 ユニットの故障。 | 受信機または各ユニットの接続部分を確認します。 弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | CS |

| 03 [症状] RCモデルが動かない | | | | |
|---------------------------------|----------------------|----------------------|---|--|
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] | |
| RCモデルのコントロールができない。 | 送信機の問題。 | Q & A [01]を参照してください。 | | |
| | 受信機の問題。 | Q & A [02]を参照してください。 | | |
| | 受信状態が悪い場所にいる。 | | 走行場所を変えます。 | |
| | | | RCモデルの操縦が大勢で行われている場合、少なくなるまで待機します。 | |
| | 使用するサーボの種類やメーカーが異なる。 | | タミヤ製サーボに変更し、リバース設定で正常になるか確認します。 | |
| | 走行用バッテリーが少ない。 | | バッテリーを充電します。 | |
| | 各ユニットによる原因。 | | 走行用のバッテリーの接続状況の確認、劣化、充電不足などの確認をします。 | |
| | | | すべての配線、接続の向き、断線や組立時の挟み込みでの損傷などを確認します。 | |
| | | | 受信機または各ユニットの接続部分を確認します。 テューニングをやり直します。 | |
| RCモデルのコントロールが思うようにできない・違和感を感じる。 | RCモデルの配線が間違っている。 | | 配線を直します。 | |
| | チャンネルリバース設定が違う。 | | RCモデルに合わせてリバース設定をします。 | |
| | 各ユニットの動作が正常ではない。 | | 各ユニットの取扱説明書をもて対応します。 弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | |

| 04 [症状] 送信機の設定が変わらない | | | |
|-------------------------------------|--|--|--------------|
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 操作設定を変えても反映されない・モデルメモリーを変更しても変わらない。 | SAVEしていない。 | 操作設定をした後のSAVE作業を行います。 | P.13 |
| 再起動(電源の入れ直し)しても設定が変わらない。 | 送信機内の破損や故障。 | 弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | CS |
| 05 [設定確認] 送信機の設定をモデルメモリーに保存したい | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 現在の送信機の設定をモデルメモリーに保存したい。 | | 各設定でSAVEを行うと、その時選択しているモデルメモリーに自動で保存されます。 | |
| 使用中のモデルメモリーから別のモデルメモリーにSAVEしたい。 | | 使用中以外の場所へ直接SAVEできませんので、後にCOPYで移動したいモデルメモリーにコピーします。 | P.25 |
| 06 [症状] ファンクションボタンを押すと反応がおかしい | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| ファンクションボタンを押しても動かない。 | ファンクションボタンに操作を割り当てていない(出荷時設定状態)。 | 出荷時は[FREE SELECT]状態ですので初期設定をします。 | P.14 P.15 |
| ファンクションボタンを押すと別の動きをする。 | モデルメモリーの選択が違う。 | モデルメモリーの選択(チェックマーク)を確認します。 | P.24 |
| | ユニットタイプ(DMD・MFC)の選択が異なる。 | 選択するRCモデルとユニットタイプの関係が正しいか確認します。 | P.8 |
| | ユニットまたはファンクションボタンの故障。 | 弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | CS |
| 07 [設定確認] 液晶画面のバックライトの点灯が煩わしい | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| バックライトを消したい(初期設定は5秒間)。 | | 点灯時間設定の選択切替で0秒/5秒/10秒/...../30秒の選択範囲で点灯時間を選択します。 | P.23 |
| バックライトの点灯時間を長くしたい。 | | セッティング2画面で[FUNCTION LIGHT OFF]にします。 | P.23 |
| ファンクションボタンを押したときはバックライトを点灯させたくない。 | | セッティング2画面で[FUNCTION LIGHT OFF]にします。 | P.23 |
| 08 [設定確認] 液晶画面のバックライトが点灯しない | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 液晶画面のバックライトが点かない・点灯が続かない。 | バックライト明るさ設定が[0/10]。 | バックライト明るさ設定を[1/10]～[10/10]に設定します。 | P.23 |
| | バックライト点灯時間設定が[0SEC]。 | バックライト点灯時間設定を[5SEC]～[30SEC]に設定します。 | P.23 |
| | ファンクションボタンを押しても点灯しない。 | セッティング2画面で[FUNCTION LIGHT ON]にします。 | P.23 |
| | バックライトが点灯し続けない。 | 30秒間が連続点灯の最大です。 | P.23 |
| | 上記以外。 | 弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | CS |
| 09 [設定確認] 液晶画面が見づらい | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 画面表示が薄い。 | | コントラスト設定で液晶画面のコントラスト調整をします。 | P.23 |
| 画面表示が濃い。 | | | |
| 10 [設定確認] 送信機のブザー音の音量を操作したい | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| ブザー音を消したい。 | | セッティング2画面で[BUZZER OFF]にします。 | P.23 |
| ブザー音の音量を調整したい。 | | ON/OFF以外は調整できません。 | |
| 11 [設定確認] BINDの項目が見当たらない | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| BIND(バインド)をしたい。 | 本製品では[BIND]は[PAIRING(ペアリング)]という名称になっている。 | メニュー画面から[PAIRING]を選択してください。 | P.23 P.24 |

| 12 [症状] 他の機種を受信機とペアリングできない | | | |
|---|--|---|--------------|
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 他の機種を受信機とペアリングできない。 | 送信機 (TTU-11) と受信機 (TRU-11) をセットで使用していない。 | 専用設計のため、他社製受信機やタミヤ製の TRU-09 など、他の受信機との組合せではペアリングできません。 | |
| 13 [設定確認] 受信機を追加したい | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 受信機を追加して、1つの送信機 (TTU-11) で複数のRCモデルを操作したい。 | | 弊社カスタマーサービスまでご相談ください。 | CS |
| 14 [設定確認] サーボについて | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 推奨するタミヤ製の標準サーボ以外を使用したい。 | | DMDユニットおよびMFCユニットのサーボ出力に制限があり、標準サーボ以外の高出力タイプ (ハイスピードやハイトルクなど) は誤作動したり、作動時間が短くなったりする場合がありますので使えません。 | |
| 他社製サーボを使用したい。 | | 1Aを超える電流を要するサーボを使用したい。 | |
| 1Aを超える電流を要するサーボを使用したい。 | | 1Aを超える電流を必要とするハイスピード型やハイトルク型のサーボは使えません。 | |
| 15 [症状] RCモデルが真っ直ぐに走らない | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| RCモデルが真っ直ぐに走らない。 | ニュートラル位置がずれている。 | DMDユニット内のステアリングトリマーを使って調整します。 | |
| | | ステアリング用サーボホーンの取付位置を調整します。 | |
| | | ステアリングに関連するアジャスターロッドの長さ調整をします。 | |
| | | 1chのトリム値またはサブトリム値を調整します。 | P.11 P.21 |
| | | 弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。 | CS |
| 16 [症状] 左右で旋回する量が異なる | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| RCモデルが右と左で旋回量 (旋回半径) が異なり、稼働範囲が狭い。 | ニュートラル位置がずれている。 | ステアリングのサーボホーンや送信機側のニュートラル位置の調整をします。 | P.11 |
| | RCモデル側の異常。 | ステアリングに関わる部分に異物や変形・伸びなどがなければ確認します。 | |
| | サブトリムの位置がずれている。 | サブトリムの位置を調整した後にDMDユニットおよびMFCユニットの各ティーチングをやり直します。 | P.21 |
| | エンドポイントの位置がずれている。 | エンドポイントの位置を調整した後にDMDユニットおよびMFCユニットの各ティーチングをやり直します。 | P.21 P.22 |
| 17 [設定確認] 4chプロポセットを海外で使用したい | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 4chプロポセットを海外で使用したい。 | | 送信機 (TTU-11) と受信機 (TRU-11) は日本国内専用です。使用先の電波法によって電波出力に関する製品仕様は異なるため、使用できません。 | P.3 |
| 18 [設定確認] 認証ラベル、技適マークが見当たらない | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| 認証ラベルや承認番号を見たい。 | | 日本国内の電波法に基づく試験に合格した認証表示は、ラベルではなく液晶画面に表示します。本書にも記載されていますが、送信機内の電波認証表示画面 [DEVICE INFORMATION] で表示できます (表示方法はP.19を参照)。 | P.3 P.26 |
| 19 [設定確認] ティーチングがわからない | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| ティーチングについて知りたい。 | | DMDユニットおよびMFCユニットに搭載されている送信機信号の個体差を補う設定です。必ず行わなければならない作業となります。各ユニットによって設定方法が異なるので各々の取扱説明書に従ってティーチングを行います。 | |
| 20 [設定確認] 四輪操舵車両 (4WS) でチャンネルスワップ設定の使用 | | | |
| [状況] | [原因] | [対処方法] | [対応] |
| チャンネルスワップについて知りたい。 | | ESCを搭載して4WS仕様のできるRCモデルは、チャンネルスワップを使用すると、同時に2つのサーボのステアリング操作ができます。DMDユニットおよびMFCユニットを使用する際はこの設定はしないでください。 | P.22 |

●使用RCモデルに合わせた設定をセッティングシートにまとめておくとう便利です。コピーしてご使用ください。
RCモデルを変える時、すでに保存されているモデルメモリーがあれば、設定状態をセッティングシートからすぐ確認できます。

| | | | |
|--|--------------|---|---------------------------------------|
| ●RCモデル： | | ●モデルメモリー：No. NAME | |
| ●ユニットタイプ： <input type="checkbox"/> A・ <input type="checkbox"/> B・ <input type="checkbox"/> 1・ <input type="checkbox"/> 2・ <input type="checkbox"/> 3・ <input type="checkbox"/> X・ <input type="checkbox"/> X・FREE SELECT | | | |
| 《ファンクションボタン割り当て》 | | 《チャンネルリバーズ》 | 《サブトリム》 |
| コマンドNo. | 表示コマンド/アクション | 1CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 1CH _____ |
| 1 | | 2CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 2CH _____ |
| 2 | | 3CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 3CH _____ |
| 3 | | 4CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 4CH _____ |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | 《エンドポイント》 | 《チャンネルスワップ》 |
| 7 | | 1CH L _____ R _____ | 1CH <input type="checkbox"/> _____ CH |
| 8 | | 2CH U _____ D _____ | 2CH <input type="checkbox"/> _____ CH |
| 9 | | 3CH U _____ D _____ | 3CH <input type="checkbox"/> _____ CH |
| 10 | | 4CH L _____ R _____ | 4CH <input type="checkbox"/> _____ CH |

| | | | |
|--|--------------|---|---------------------------------------|
| ●RCモデル： | | ●モデルメモリー：No. NAME | |
| ●ユニットタイプ： <input type="checkbox"/> A・ <input type="checkbox"/> B・ <input type="checkbox"/> 1・ <input type="checkbox"/> 2・ <input type="checkbox"/> 3・ <input type="checkbox"/> X・ <input type="checkbox"/> X・FREE SELECT | | | |
| 《ファンクションボタン割り当て》 | | 《チャンネルリバーズ》 | 《サブトリム》 |
| コマンドNo. | 表示コマンド/アクション | 1CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 1CH _____ |
| 1 | | 2CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 2CH _____ |
| 2 | | 3CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 3CH _____ |
| 3 | | 4CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 4CH _____ |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | 《エンドポイント》 | 《チャンネルスワップ》 |
| 7 | | 1CH L _____ R _____ | 1CH <input type="checkbox"/> _____ CH |
| 8 | | 2CH U _____ D _____ | 2CH <input type="checkbox"/> _____ CH |
| 9 | | 3CH U _____ D _____ | 3CH <input type="checkbox"/> _____ CH |
| 10 | | 4CH L _____ R _____ | 4CH <input type="checkbox"/> _____ CH |

| | | | |
|--|--------------|---|---------------------------------------|
| ●RCモデル： | | ●モデルメモリー：No. NAME | |
| ●ユニットタイプ： <input type="checkbox"/> A・ <input type="checkbox"/> B・ <input type="checkbox"/> 1・ <input type="checkbox"/> 2・ <input type="checkbox"/> 3・ <input type="checkbox"/> X・ <input type="checkbox"/> X・FREE SELECT | | | |
| 《ファンクションボタン割り当て》 | | 《チャンネルリバーズ》 | 《サブトリム》 |
| コマンドNo. | 表示コマンド/アクション | 1CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 1CH _____ |
| 1 | | 2CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 2CH _____ |
| 2 | | 3CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 3CH _____ |
| 3 | | 4CH <input type="checkbox"/> NORMAL / REVERSE | 4CH _____ |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | 《エンドポイント》 | 《チャンネルスワップ》 |
| 7 | | 1CH L _____ R _____ | 1CH <input type="checkbox"/> _____ CH |
| 8 | | 2CH U _____ D _____ | 2CH <input type="checkbox"/> _____ CH |
| 9 | | 3CH U _____ D _____ | 3CH <input type="checkbox"/> _____ CH |
| 10 | | 4CH L _____ R _____ | 4CH <input type="checkbox"/> _____ CH |

★目次も合わせてご覧ください。

| | |
|-------------|----------------------|
| 1ch~4chコネクタ | P.6 |
| 4WS | P.22 |
| Cボタン | P.4, P.13 |
| DMDユニット | P.7, P.8, P.12, P.27 |
| ESC | P.7 |
| FREE SELECT | P.8, P.26 |
| LCD | P.19, P.23 |
| MFCユニット | P.7, P.8, P.11, P.27 |
| OKボタン | P.4, P.13 |
| RX | P.19 |
| SAVE | P.13 |
| TX | P.19 |

| | |
|-----------|------------|
| アクション | P.26 |
| 上ボタン | P.4, P.13 |
| エンドポイント設定 | P.21, P.22 |

| | |
|----------|-----------------|
| 画面アドレス | P.5, P.17 |
| コマンドNo. | P.5, P.13, P.26 |
| コントラスト設定 | P.23 |

| | |
|--------------|---------------------------------|
| サブトリム設定 | P.21, P.27 |
| 下ボタン | P.4, P.13 |
| 受信機用電源 | P.7, P.8 |
| 出荷時設定 | P.5, P.7 |
| スティック | P.4, P.6, P.10~P.12, P.26, P.27 |
| スティックエンド | P.4, P.6 |
| セットスイッチ(受信機) | P.6, P.7, P.24 |
| 走行用バッテリー | P.7, P.8 |

| | |
|---------|----------|
| 操作図 | P.26 |
| 操作チャンネル | P.26 |
| 送信機電圧表示 | P.5 |
| 送信機用電池 | P.8, P.9 |

| | |
|--------------|-----------------------|
| チャンネル/ch | P.4, P.6, P.19 |
| チャンネルスワップ設定 | P.22 |
| チャンネルリバース設定 | P.20, P.27 |
| 電源LED | P.4, P.5, P.24 |
| 電波出力ON/OFF設定 | P.5, P.19 |
| トリム | P.5, P.10, P.11, P.27 |
| トリムレバー | P.4, P.10 |

| | |
|-------|-----------|
| 認証ラベル | P.3, P.26 |
|-------|-----------|

| | |
|--------------|----------------------------------|
| バックライト明るさ設定 | P.5, P.23 |
| バックライト点灯時間設定 | P.23 |
| 表示コマンド | P.5, P.13, P.26 |
| ファンクションボタン設定 | P.5, P.13~P.16, P.20, P.26, P.27 |
| フェイルセーフ | P.6, P.7 |
| プザー設定 | P.5, P.23 |
| プリセット | P.13~P.16, P.20, P.26 |
| ペアリング | P.6, P.7, P.23, P.24 |

| | |
|--------------|----------------------|
| モデルネーム | P.5, P.24, P.25 |
| モデルメモリー | P.5, P.24, P.25 |
| モニターLED(受信機) | P.6, P.7, P.24 |
| ユニットタイプ | P.8, P.13~P.16, P.20 |
| ユニットマーク | P.5, P.8, P.26 |

《FINESPEC 2.4G 4チャンネル 製品スペック》 ★仕様は予告なく変更することがあります。

| | |
|-------|------------------------|
| 送信機 | :TTU-11 |
| 操作方法 | :2スティックタイプ4ch+10アクション |
| 送信周波数 | :2.4GHz帯 |
| 使用電源 | :6V(単3形電池4本) ※アルカリ電池推奨 |
| 消費電流 | :最大140mA(6V時) |

| | |
|-------|--------------------------------|
| 受信機 | :TRU-11 |
| 受信周波数 | :2.4GHz帯 |
| 使用電源 | :最大7.2V ※BEC回路付きのユニットからの供給に限る。 |
| 消費電流 | :40mA(5V) ※サーボやユニットの接続がない時 |
| 寸法 | :38×27×18mm(突起物を除く) |
| 重量 | :9.9g |

●万一不良、不足部品などありましたら、当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

★修理依頼されるときは、

もう一度説明書をよく読んで、チェックをしてください。故障状況を詳しく書いて、製品と共に当社カスタマーサービスまでお送りください。症状がわかることで、修理が早く済む場合があります。

部品請求について

For use in Japan only!

★部品をなくしたり、こわした方は、このステッカーが貼られたカスタマーサービス取次店でご注文いただけます。また、当社カスタマーサービスに直接ご注文する場合は、右記の方法でご注文することができます。詳しくは当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。



カスタマーサービスのページにご注文フォームがありますので、そちらからご注文できます。また、電話でもお受けいたします。代金引換の場合は、パーツ代金に加えて代引き手数料をご負担いただけます。

《住所》
〒422-8610 静岡県駿河区思田原3-7
株式会社タミヤ カスタマーサービス係

《お問い合わせ番号》
静岡 054-283-0003
東京 03-3899-3765 (静岡へ自動転送)

※電話番号をお確かめのし、おかけ間違いのないようお願いいたします。

《カスタマーサービスアドレス》
www.tamiya.com/japan/customer/
「タミヤ カスタマーサービス」で検索!!

タミヤRCシステム ファインスペック2.4G
4チャンネルRCプロボセット
(TTU-11・TRU-11)

| | |
|----------------------------|----------|
| 部品名 | 部品コード |
| 受信機(TRU-11) | 17304068 |
| シフトゲートB2,両面テープ,スポンジ | 19406452 |
| 取扱説明書(TTU-11,TRU-11),画面マップ | 19803508 |

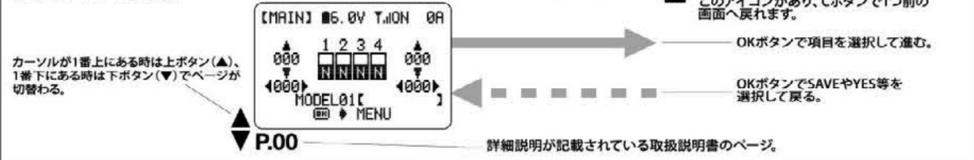
《お支払い方法》
お支払い方法にはタミヤカード(クレジットカード)と代金引換(代引き)の2通りがあります。どちらの方法もタミヤホームページ内、

送料、タミヤカード入会、代引き手数料についてはホームページをご確認ください。





《画面マップの見方》



画面マップ (TTU-11)

